

第2章

就学前児童をもつ保護者の
子育てに関する調査結果

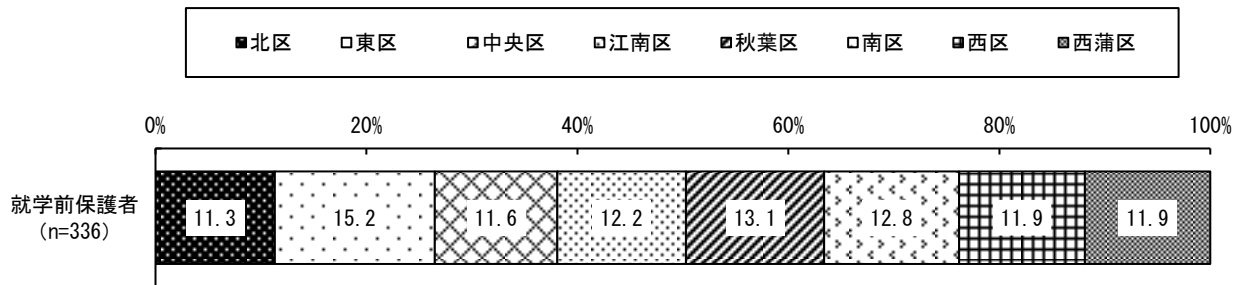
第2章 就学前児童をもつ保護者の子育てに関する調査結果

1 基礎的事項

問1 どちらの区にお住まいですか。(1つに〇)

居住地区は、「東区」が15.2%、「秋葉区」が13.1%、「南区」が12.8%、「江南区」が12.2%、「西区」「西蒲区」がそれぞれ11.9%、「中央区」が11.6%、「北区」が11.3%となっています。

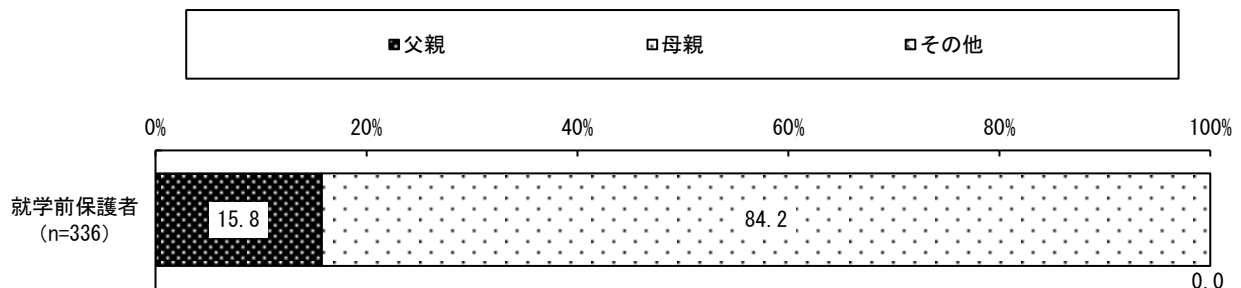
図2.1 居住地区



問2 お子さんからみた関係で、この調査票を記入されている方はどなたですか。(1つに〇)

子どもからみた続柄は、「母親」が84.2%、「父親」が15.8%となっています。

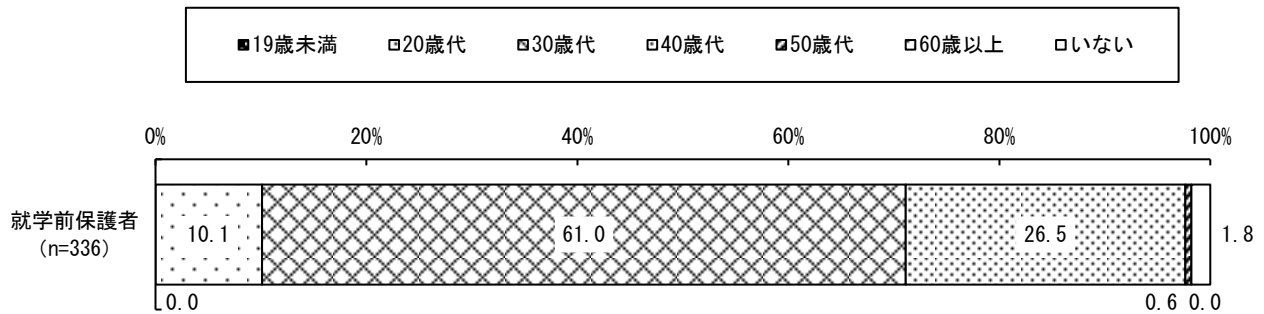
図2.2 子どもからみた続柄



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
 ① 夫の年齢

夫の年齢は、「30代」が61.0%、「40代」が26.5%となっています。

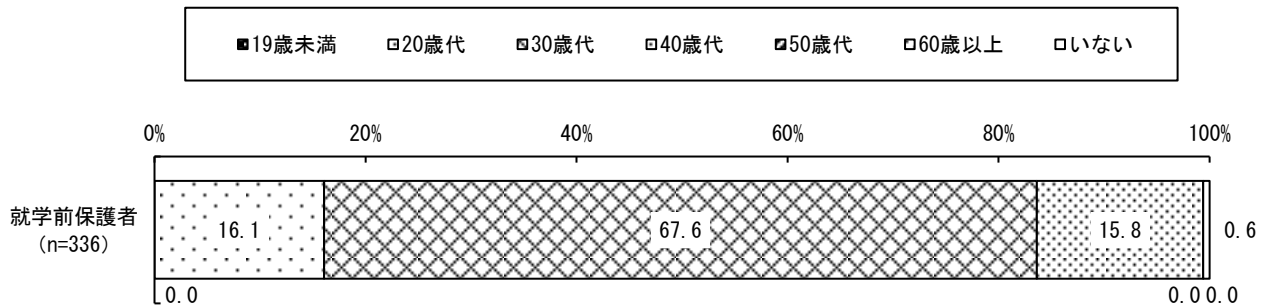
図 2.3-1① 夫の年齢



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
 ② 妻の年齢

妻の年齢は、「30代」が67.6%、「20代」が16.1%、「40代」が15.8%となっています。

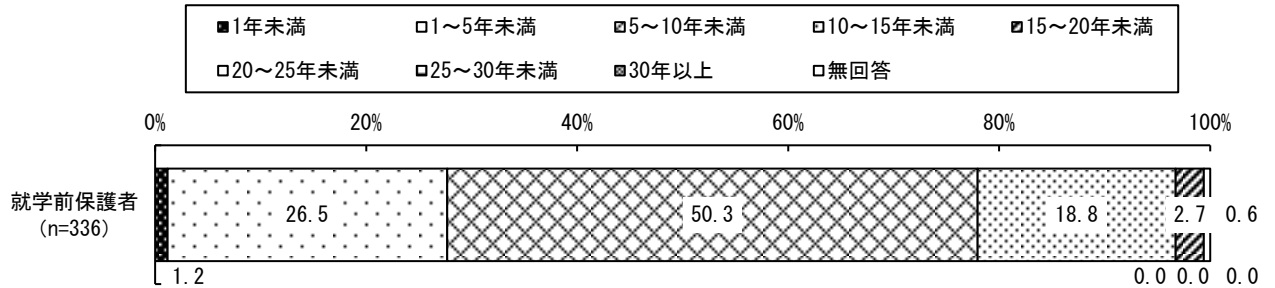
図 2.3-1② 妻の年齢



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
結婚年数

結婚年数は、「5～10年未満」が50.3%、「1～5年未満」が26.5%、「10～15年未満」が18.8%、となっています。

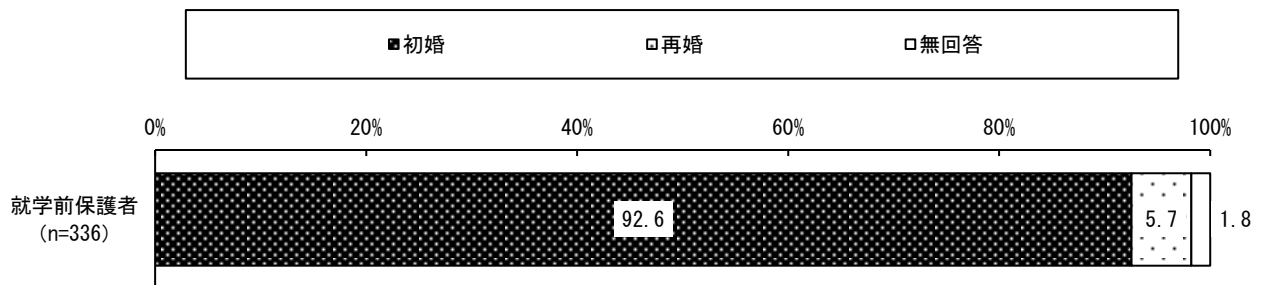
図 2.3-2 結婚年数



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
① 夫の初再婚の別

夫の初再婚の別は、「初婚」が92.6%、「再婚」が5.7%となっています。

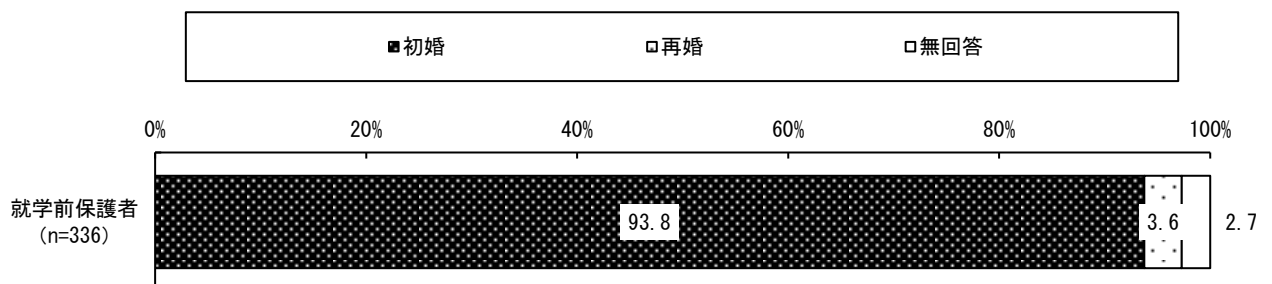
図 2.3-3① 夫の初再婚の別



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
② 妻の初再婚の別

妻の初再婚の別は、「初婚」が93.8%、「再婚」が3.6%となっています。

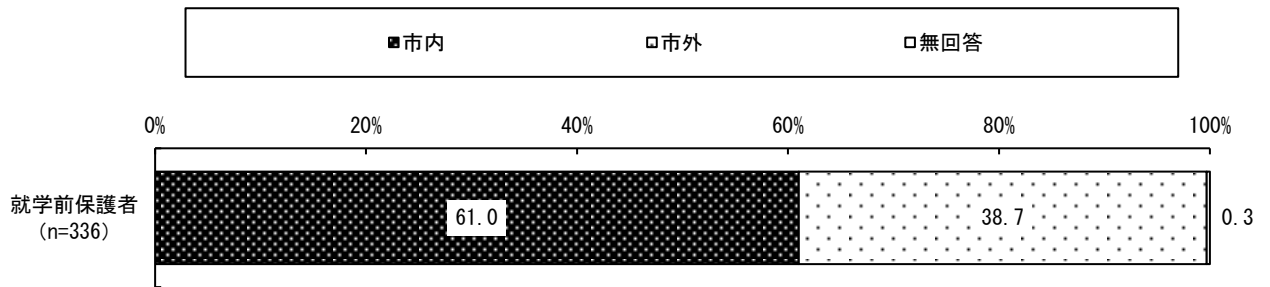
図 2.3-3② 妻の初再婚の別



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
① 夫の出身地

夫の出身地は、「市内」が61.0%、「市外」が38.7%となっています。

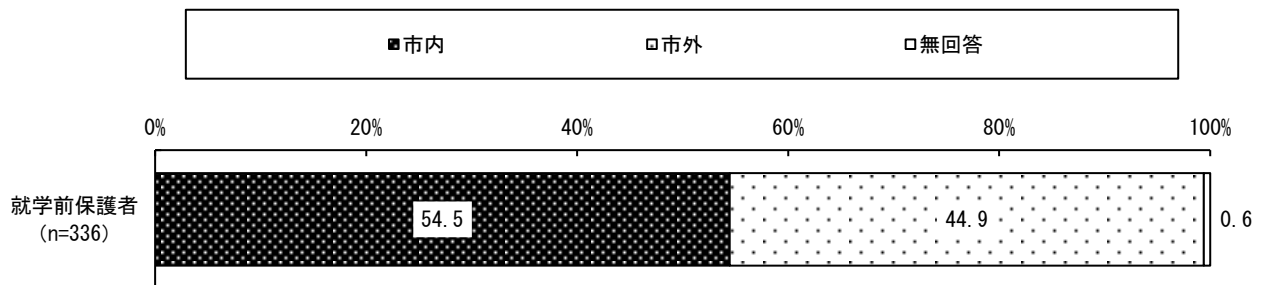
図 2.3-4① 夫の出身地



問3 あなた方ご夫婦の年齢および結婚生活を始めた年月、初再婚の別、出身地についてお答えください。※このアンケートで言う「夫婦」は婚姻関係の有無は問いません
② 妻の出身地

妻の出身地は、「市内」が54.5%、「市外」が44.9%となっています。

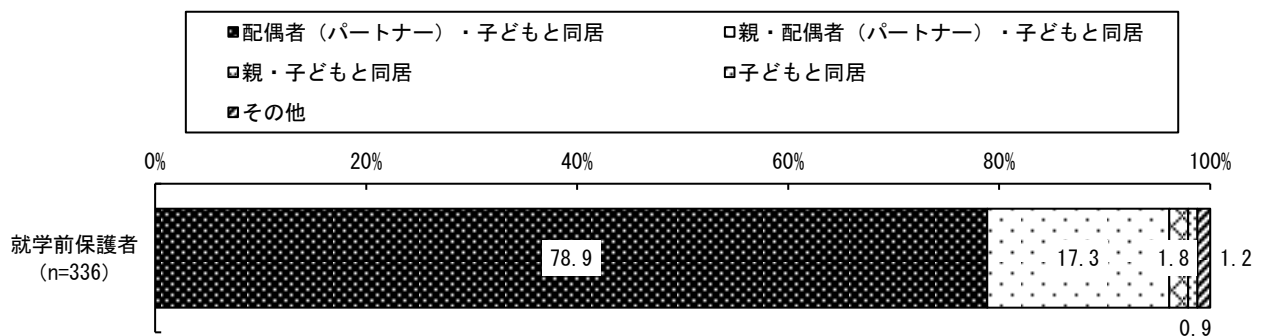
図 2.3-4② 妻の出身地



問4 あなたの家族構成は以下のどれに該当しますか。(1つに○)

家族構成は「配偶者（パートナー）・子どもと同居」が78.9%、「親・配偶者（パートナー）・子どもと同居」が17.3%となっています。

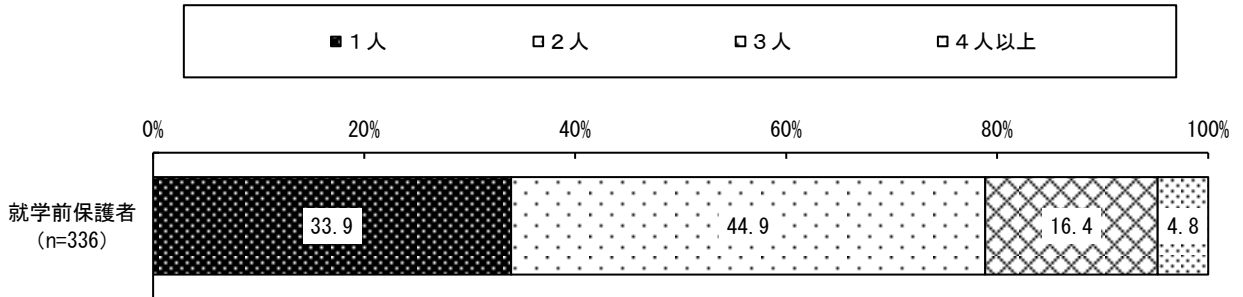
図 2.4 家族構成



問5 宛名のお子さんを含む子どもは何人いらっしゃいますか。

子どもの人数は、「2人」が44.9%、「1人」が33.9%、「3人」が16.4%となっています。

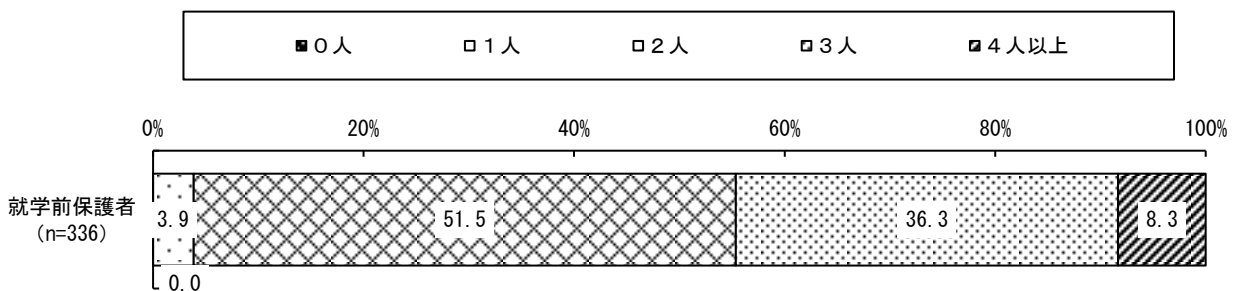
図2.5 子どもの人数



問6 ①あなたの理想とする子どもの人数と②実際にもつつもりの子どもの人数についてお答えください。(①②それぞれ1つに○)
①あなたの理想とする子どもの人数

理想の子ども的人数は、「2人」が51.5%、「3人」が36.3%、「4人以上」が8.3%となっています。

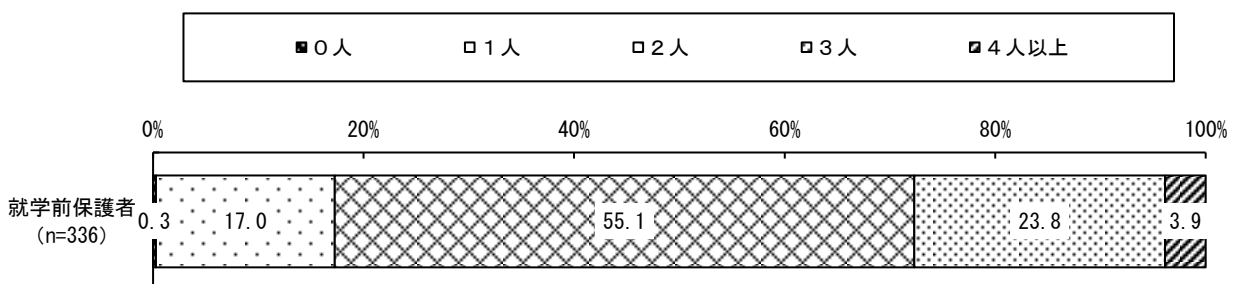
図2.6① 理想の子ども的人数



問6 ①あなたの理想とする子どもの人数と②実際にもつつもりの子どもの人数についてお答えください。(①②それぞれ1つに○)
②実際にもつつもりの子ども的人数

実際にもつ予定の子ども的人数は、「2人」が55.1%、「3人」が23.8%、「1人」が17.0%となっています。

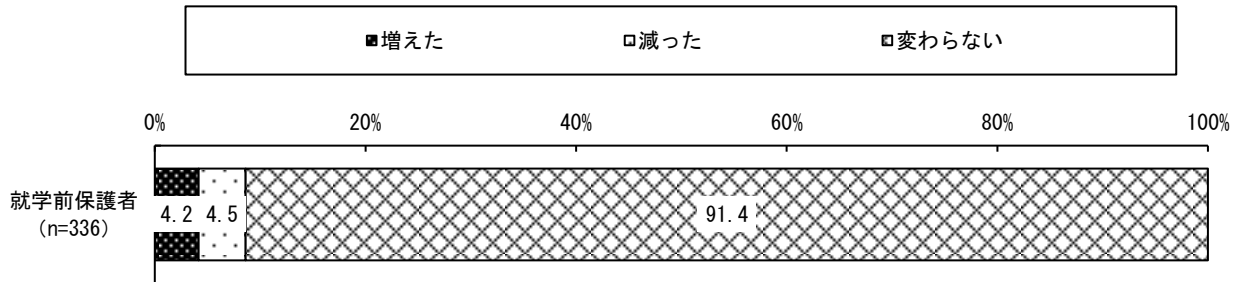
図2.6② 実際にもつ予定の子ども的人数



問6 ③実際にもつつもりの子どもの人数は、コロナ禍（2019年12月以降）を経たことにより変化はありましたか。減ったに○をつけた方は、理由もあわせてお答えください。

実際にもつつもりの子どもの人数は、「増えた」が4.2%、「減った」が4.5%、「変わらない」が91.4%となっています。

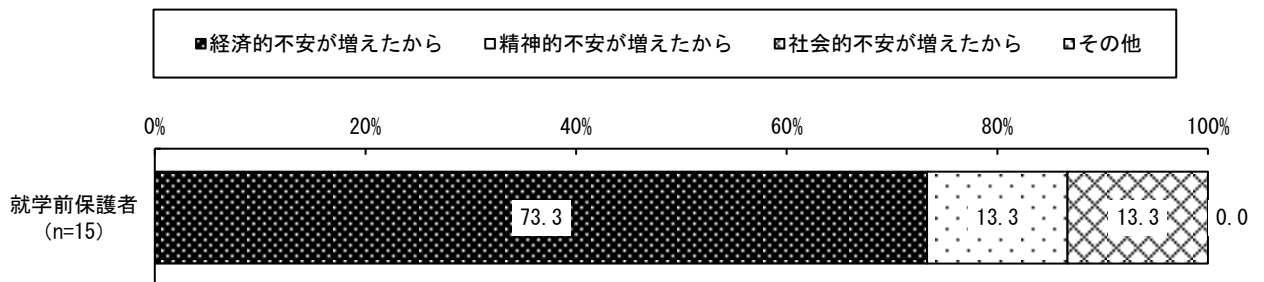
図3.6③-1 実際にもつつもりの子どもの人数の変化



問6 ③減った理由

減った理由は、「経済的不安が増えたから」が73.3%、「社会的不安が増えたから」「精神的不安が増えたから」がそれぞれ13.3%となっています。

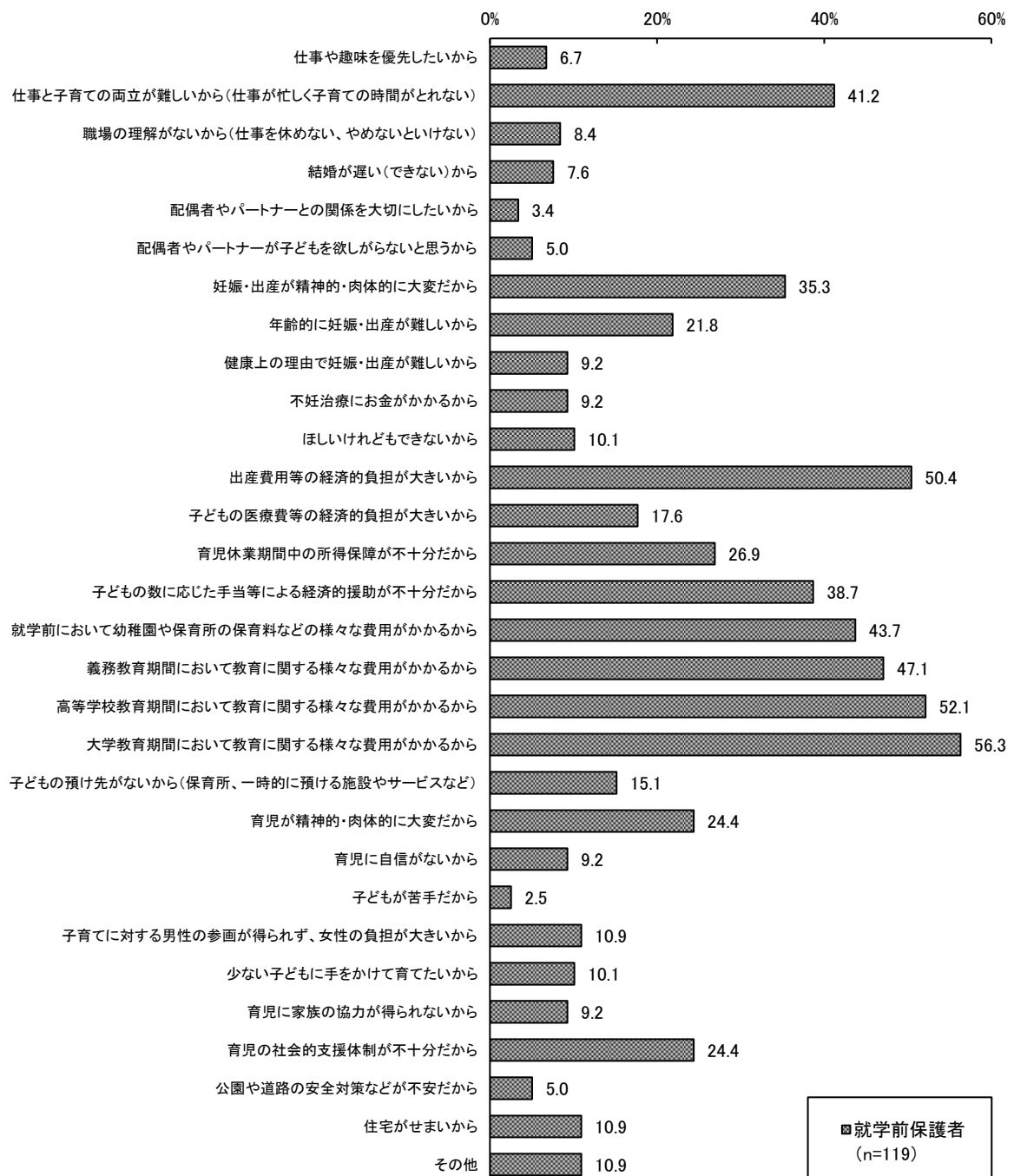
図3.6③-2 減った理由



問7 問6で、②実際にもつ予定の子どもの人数が、①理想とする子どもの人数より少ない方にお聞きします。その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから」が56.3%、「高等学校教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから」が52.1%、「出産費用等の経済的負担が大きいから」が50.4%、「義務教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから」が47.1%、「就学前において幼稚園や保育所の保育料などの費用がかかるから」が43.7%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が41.2%となっています。

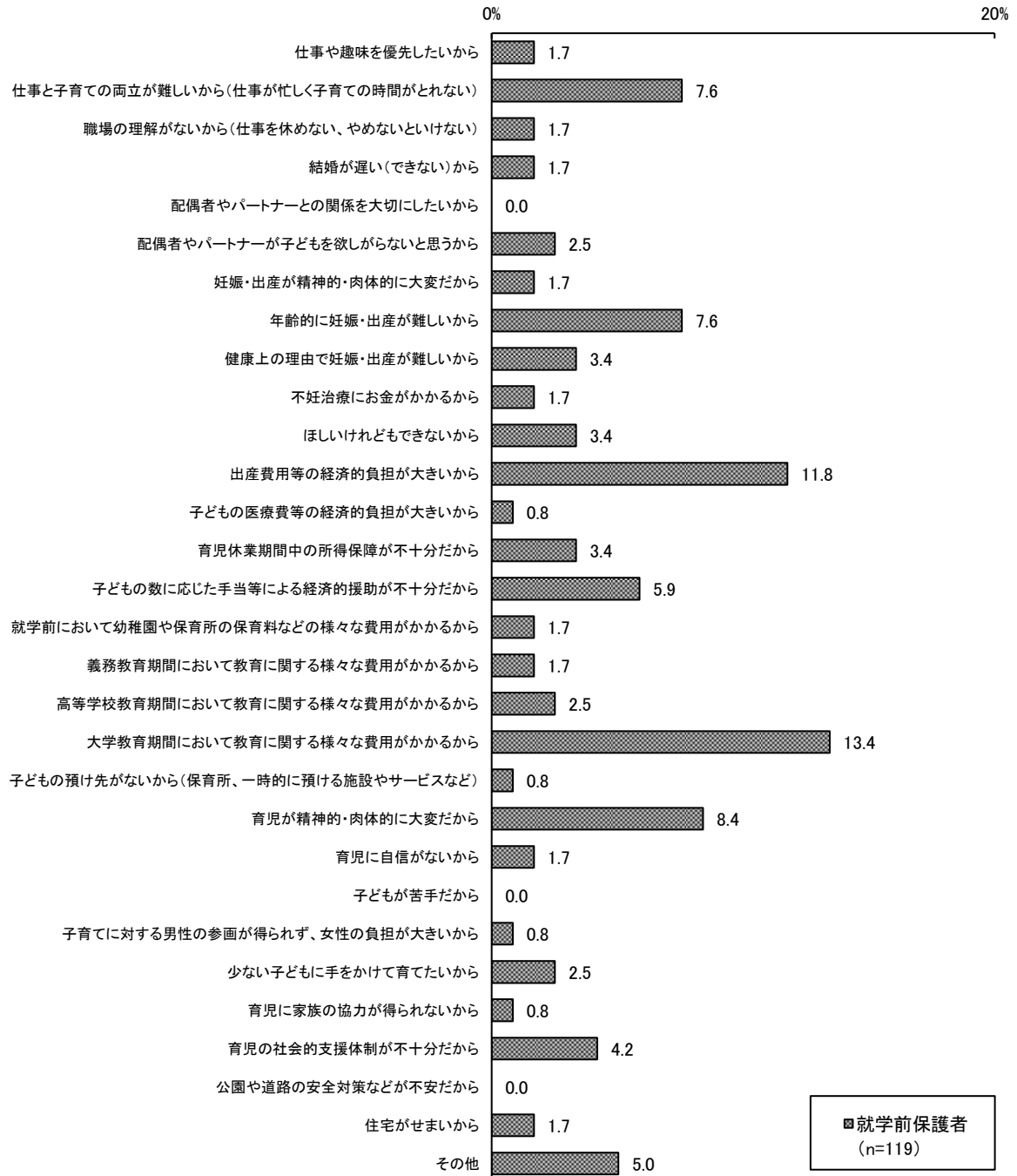
図 2.7-1 実際にもつ子どもの人数が理想より少ない理由



問7 その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

「大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから」が13.4%、「出産費用等の経済的負担が大きいから」が11.8%、「育児が精神的・肉体的に大変だから」が8.4%となっています。

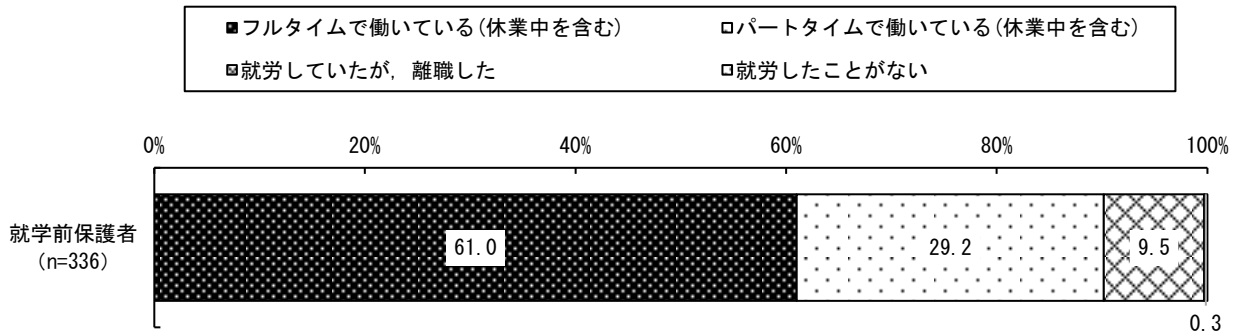
図 2.7-2 実際にもつ子どもの人数が理想より少ない最も重要な理由



問8 あなたの就業状況についてお答えください。(1つに○)

就業状況は、「フルタイムで働いている」が61.0%、「パートタイムで働いている」が29.2%、「就労していたが、離職した」が9.5%となっています。

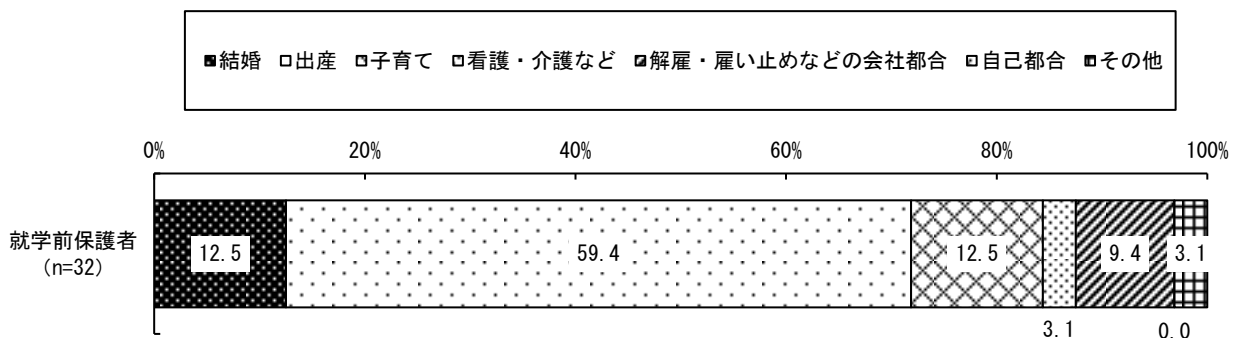
図2.8 就業状況



問8-1 問8で、「3 就労していたが、離職した」と答えた方にお聞きします。離職理由についてお答えください。(1つに○)

離職理由は、「出産」が59.4%、「結婚」「子育て」がそれぞれ12.5%、「解雇・雇い止めなどの会社都合」が9.4%となっています。

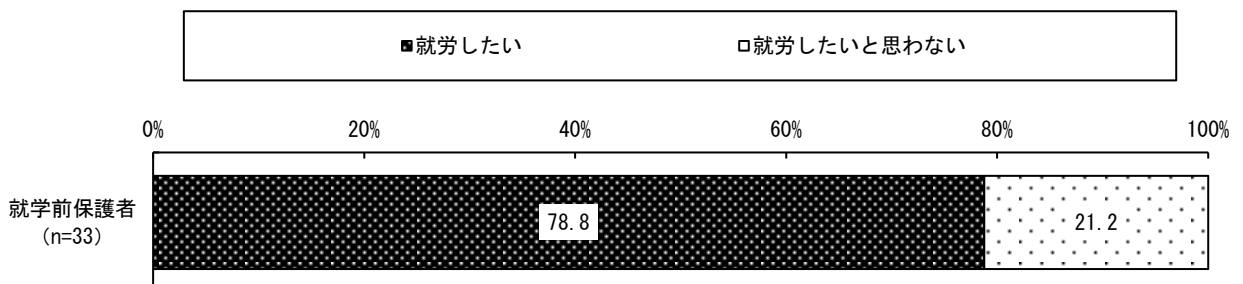
図2.8-1 離職理由



問8-2 問8で、「3 就労していたが、離職した」または「4 就労したことがない」と答えた方にお聞きします。今後の就労について、ご意向をお聞かせください。(1つに○)

「就労したい」が78.8%、「就労したいと思わない」が21.2%となっています。

図2.8-2 今後の就労意向

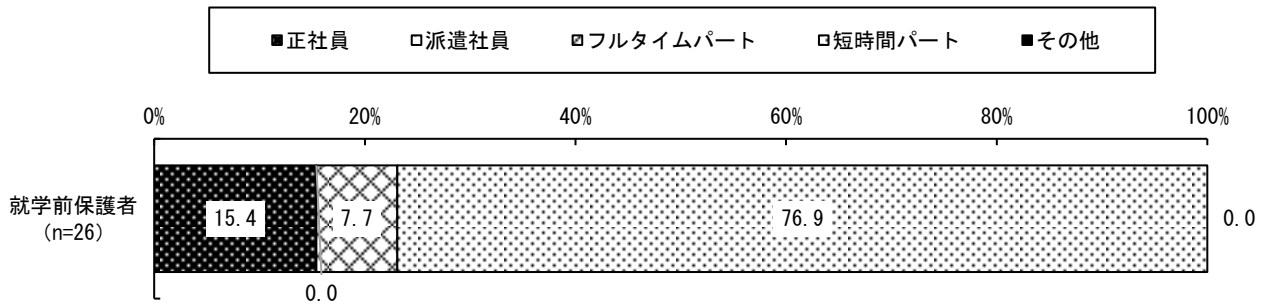


問8-3 「1 就労したい」と答えた方にお聞きします。

① 希望する就労形態についてお答えください。(1つに〇)

希望する就労形態は、「短時間パート」が76.9%、「正社員」が15.4%、「フルタイムパート」が7.7%となっています。

図2.8-3① 希望する就労形態

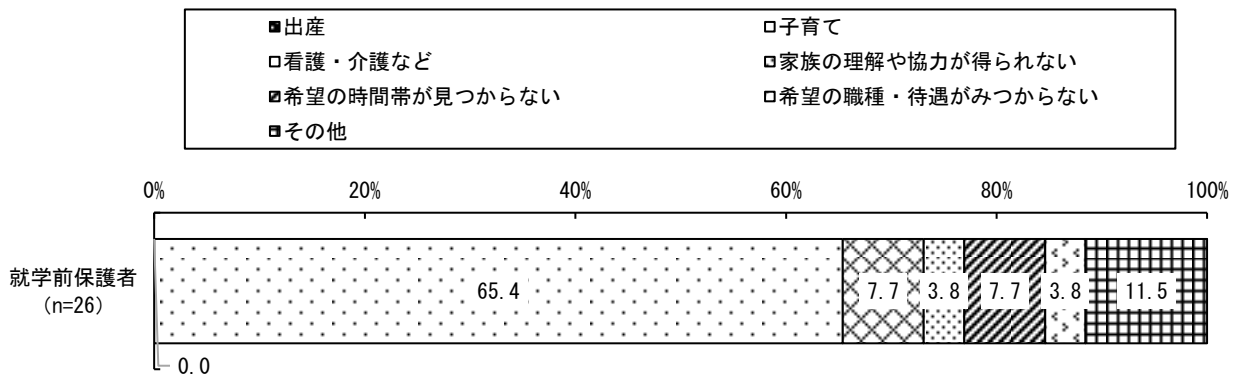


問8-3 「1 就労したい」と答えた方にお聞きします。

② 現在就労していない理由についてお答えください。(1つに〇)

「子育て」が65.4%となっています。

図2.8-3② 現在就労していない理由

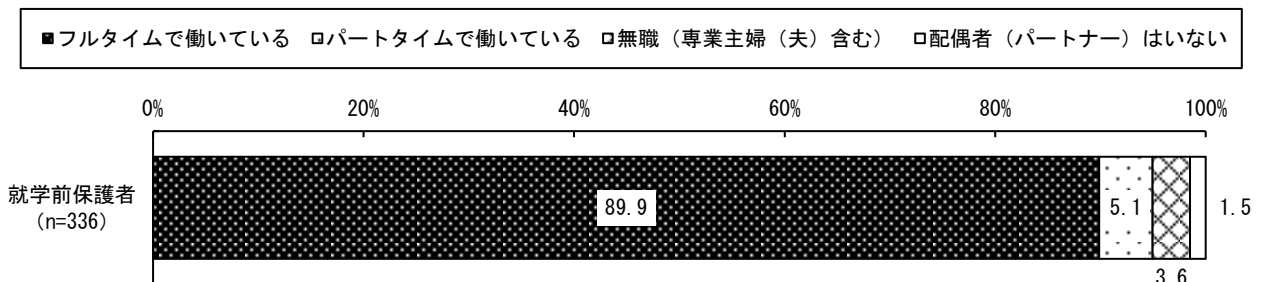


問9 配偶者（パートナー）がいる人にお聞きします。

配偶者の就業状況についてお答えください。(1つに〇)

配偶者の就業状況は、「フルタイムで働いている」が89.9%となっています。

図2.9 パートナーの就業状況

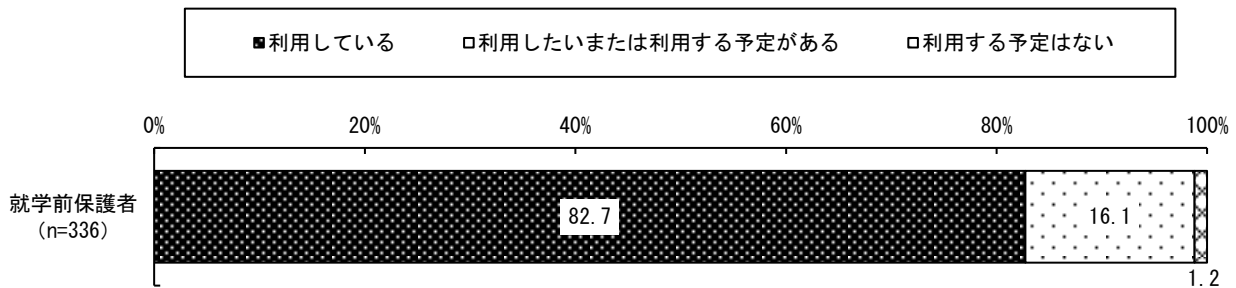


2 保育園等について

問10 保育園、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業、認可外保育施設などを利用していますか。
(1つに○)

保育園等の利用は、「利用している」が82.7%、「利用したいまたは利用する予定がある」が16.1%となっています。

図 2.10 保育園等の利用



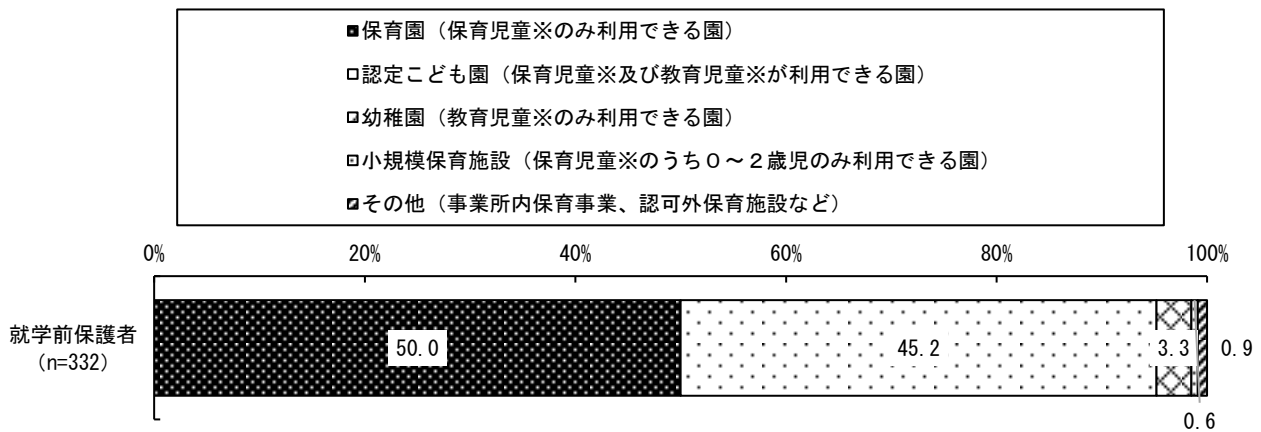
問10-1 問10で「1 利用している」または「2 利用したいまたは利用する予定がある」と答えた方にお聞きします。

どの種類の施設（事業）を利用（又は利用予定）していますか。

(1つに○。なお、きょうだいが別々の類型施設を利用している場合は、いずれか1つの類型を任意で選択し回答してください。)

「保育園」が50.0%、「認定こども園」が45.2%となっています。

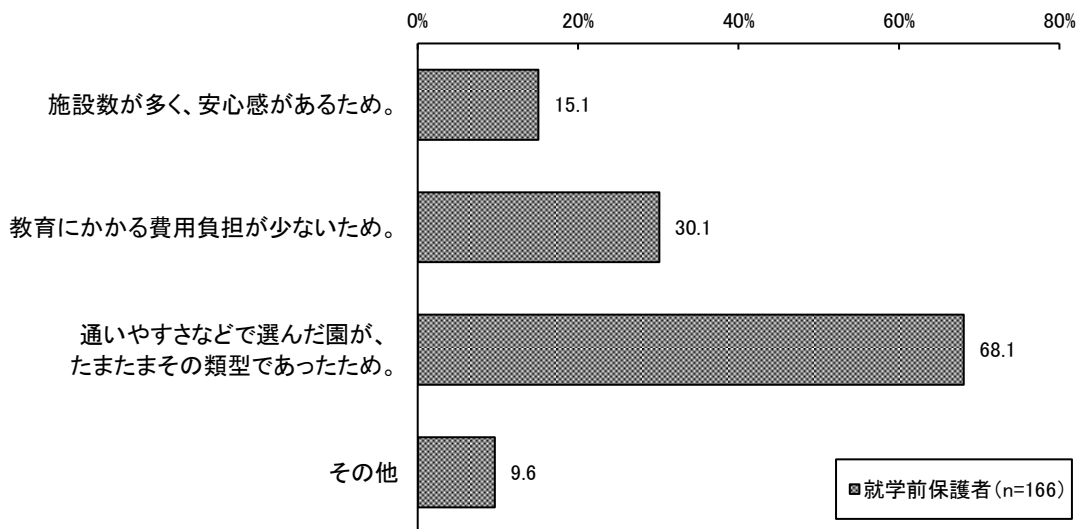
図 2.10-1 利用施設（事業）の種類



問10-2 その施設類型を選んだ（または選ぶ）理由は何ですか。
 （あてはまるもの全てに○）※⑤は理由を記載してください。
 ① 問10-1で「1 保育園」と答えた方

「通いやすさなどで選んだ園が、たまたまその類型であったため。」が68.1%、「教育にかかる費用負担が少ないため。」が30.1%となっています。

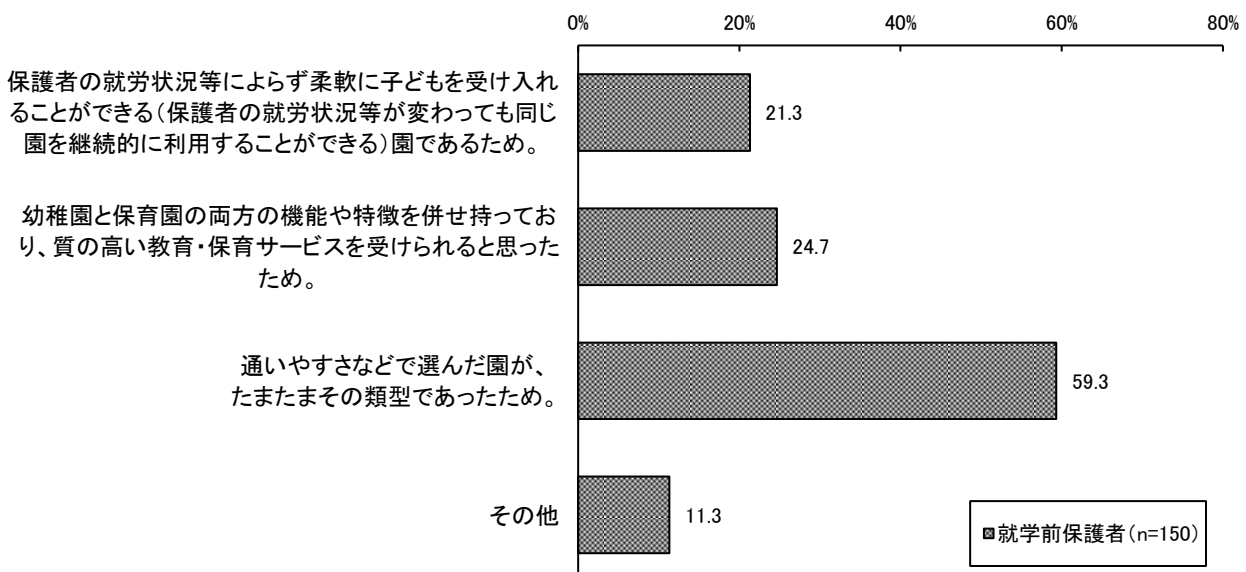
図 2.10-2① 保育園を選んだ（選ぶ）理由



問10-2 その施設類型を選んだ（または選ぶ）理由は何ですか。
 （あてはまるもの全てに○）※⑤は理由を記載してください。
 ② 問10-1で「2 認定こども園」と答えた方

「通いやすさなどで選んだ園が、たまたまその類型であったため。」が59.3%、「幼稚園と保育園の両方の機能や特徴を併せ持っており、質の高い教育・保育サービスを受けられると思ったため。」が24.7%となっています。

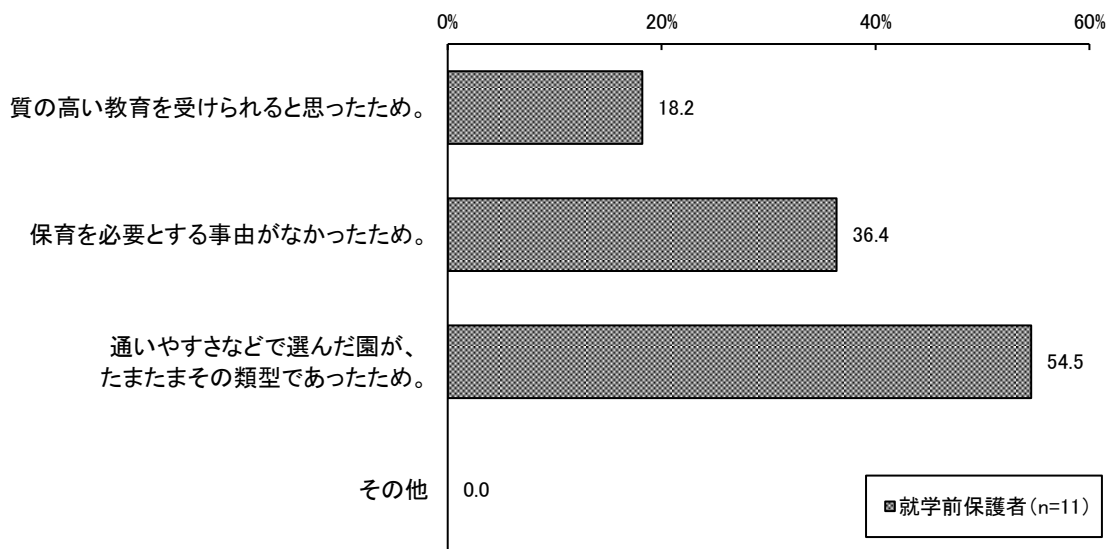
図 2.10-2② 認定こども園を選んだ（選ぶ）理由



問10-2 その施設類型を選んだ（または選ぶ）理由は何ですか。
 （あてはまるもの全てに○）※⑤は理由を記載してください。
 ③ 問10-1で「3 幼稚園」と答えた方

「通いやすさなどで選んだ園が、たまたまその類型であったため。」が54.5%、「保育を必要とする事由がなかったため。」が36.4%となっています。

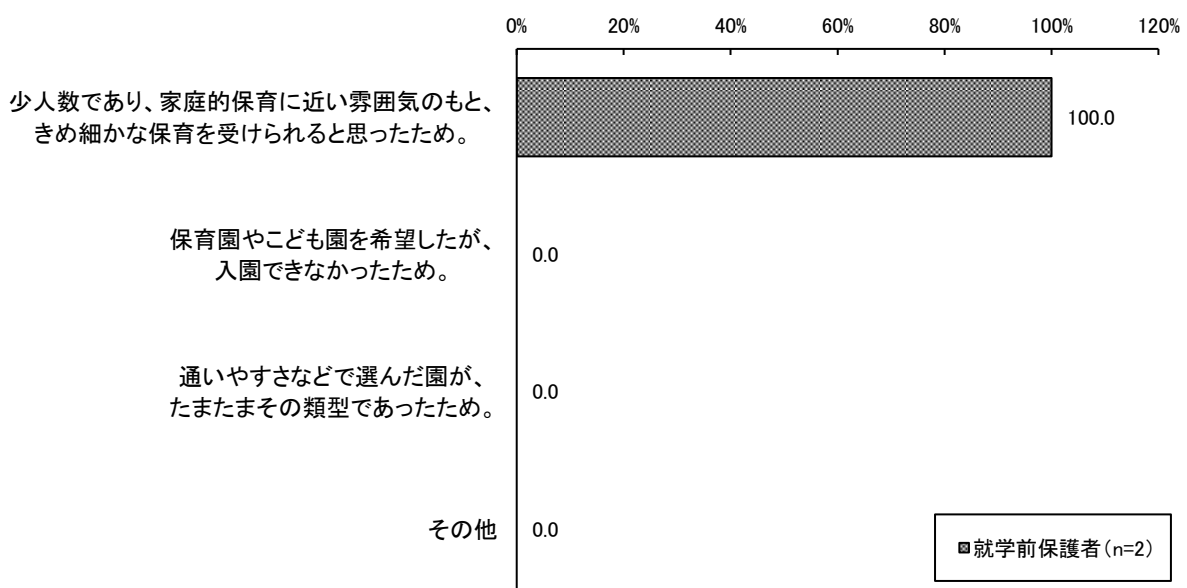
図 2.10-2③ 幼稚園を選んだ（選ぶ）理由



問10-2 その施設類型を選んだ（または選ぶ）理由は何ですか。
 （あてはまるもの全てに○）※⑤は理由を記載してください。
 ④ 問10-1で「4 小規模保育施設」と答えた方

「少人数であり、家庭的保育に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を受けられると思ったため。」が100.0%となっています。

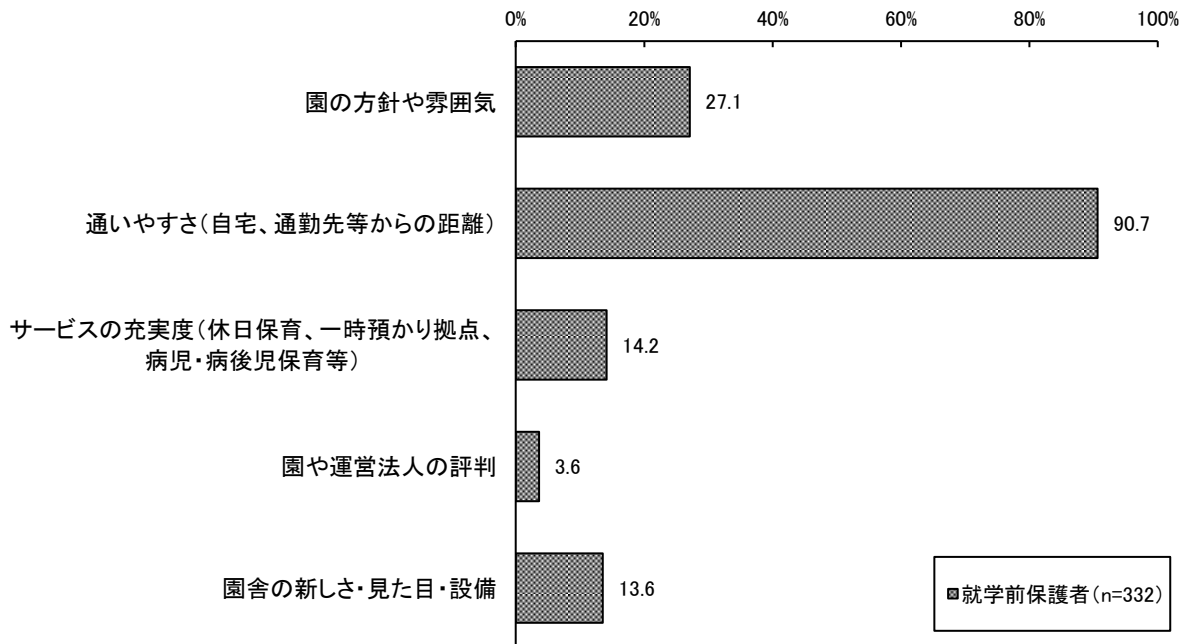
図 2.10-2④ 小規模保育施設を選んだ（選ぶ）理由



問10-3 ①園を選んだ（または選ぶ）基準は何ですか。（2つまで○）

「通いやすさ（自宅、通勤先等からの距離）」が 90.7%、「園の方針や雰囲気」が 27.1%となっています。

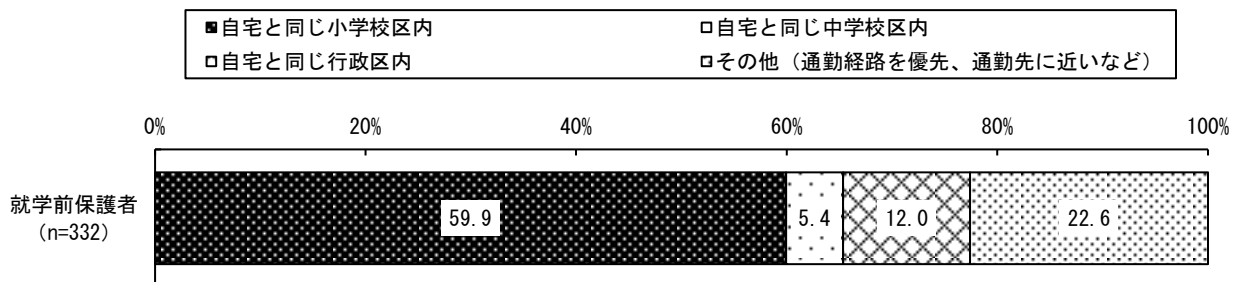
図 2.10-3① 園を選んだ（選ぶ）基準



問10-3 ②園を選んだ（選ぶ）際、概ねどの程度のエリアで検討しましたか（検討しますか）。（1つに○）

「自宅と同じ小学校区内」が 59.9%、「その他（通勤経路を優先、通勤先に近いなど）」が 22.6%となっています。

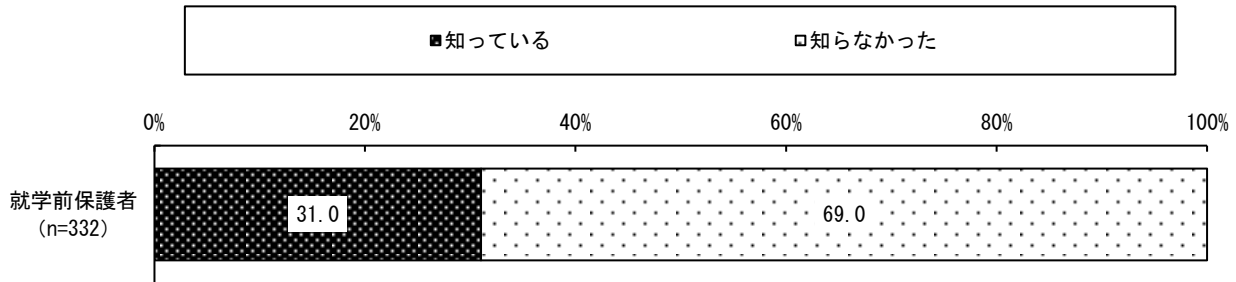
図 2.10-3② 園を選んだ（選ぶ）際のエリア



問10-3 ③本市は保育園等の職員配置基準について、国が1歳児は子ども6人に対し保育士1人としているところ、市独自の政策として子ども3人に対して保育士1人と手厚い配置となっていることをご存知ですか。(1つに○)

「知らなかった」が69.0%、「知っている」が31.0%となっています。

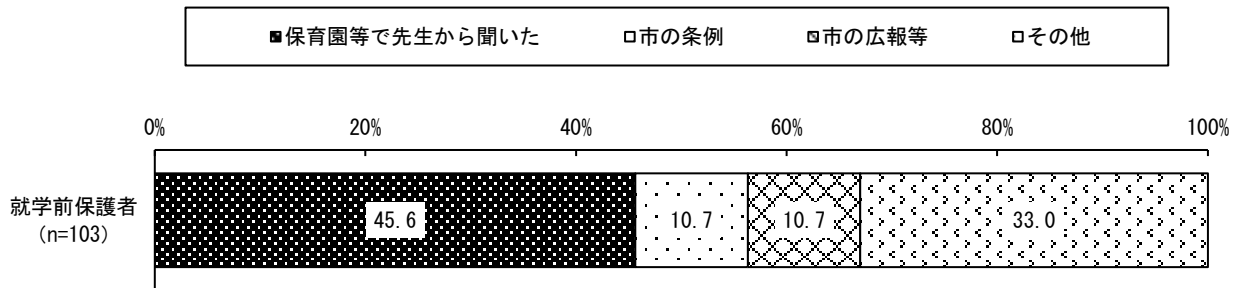
図 2.10-3③ 保育士の手厚い配置の認知



問10-4 問10-3③で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。知ったきっかけは何ですか。(1つに○)

「保育園等で先生から聞いた」が45.6%、「その他」が33.0%、「市の条例」「市の広報等」がそれぞれ10.7%となっています。

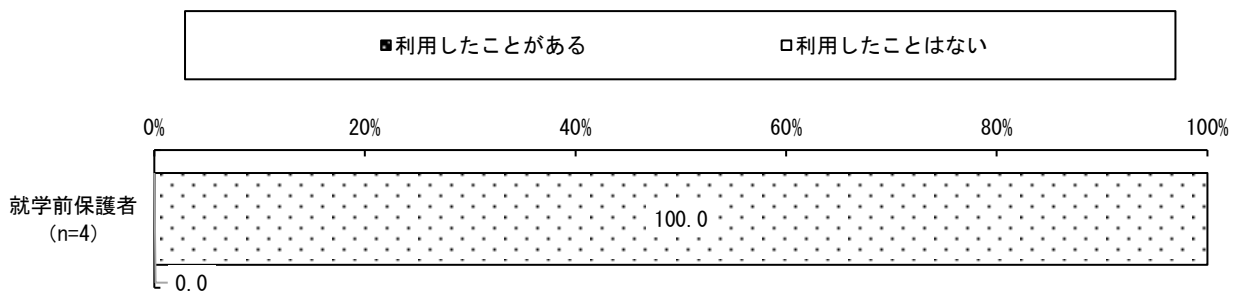
図 2.10-4 保育士の手厚い配置を知ったきっかけ



問11 問10で「3 利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。保育園等の一時預かりを利用したことがありますか。(1つに○)

「利用したことはない」が100.0%となっています。

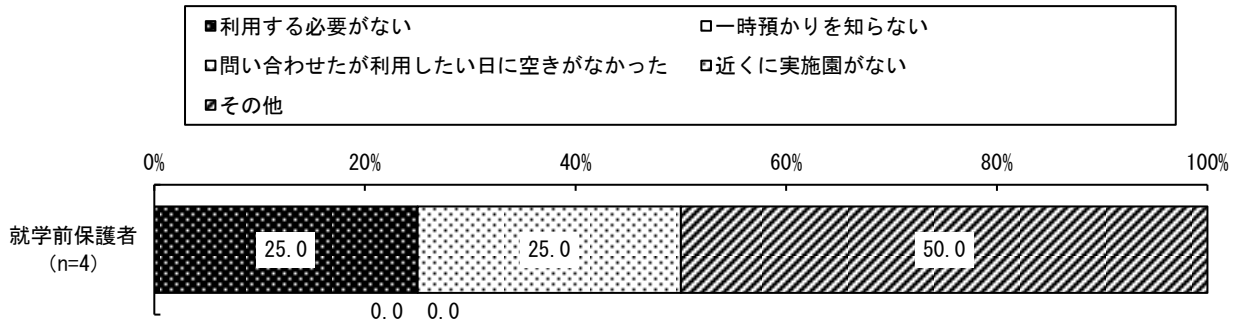
図 2.11 一時預かりの利用経験



問11-1 問11で「2 利用したことはない」と答えた方にお聞きます。
 ① 一時預かりを利用したことがない理由についてお答えください。(1つに○)

「利用する必要がない」「近くに実施園がない」がそれぞれ25.0%となっています。

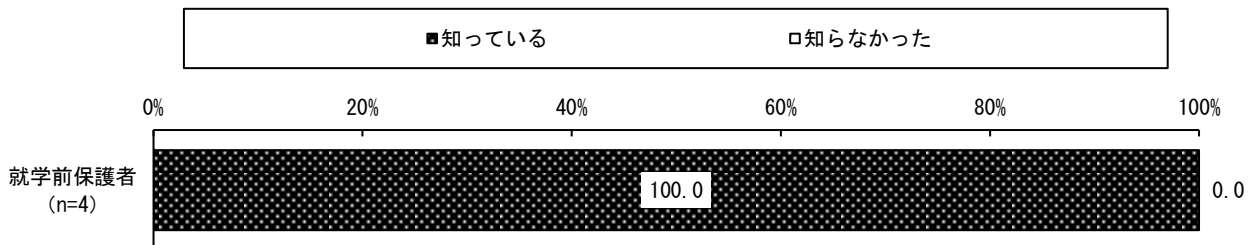
図 2.11-1① 一時預かりを使用したことがない理由



問11-1 問11で「2 利用したことはない」と答えた方にお聞きます。
 ②一時預かりは、育児のリフレッシュでも利用できることを知っていましたか。(1つに○)

「知っている」が100.0%となっています。

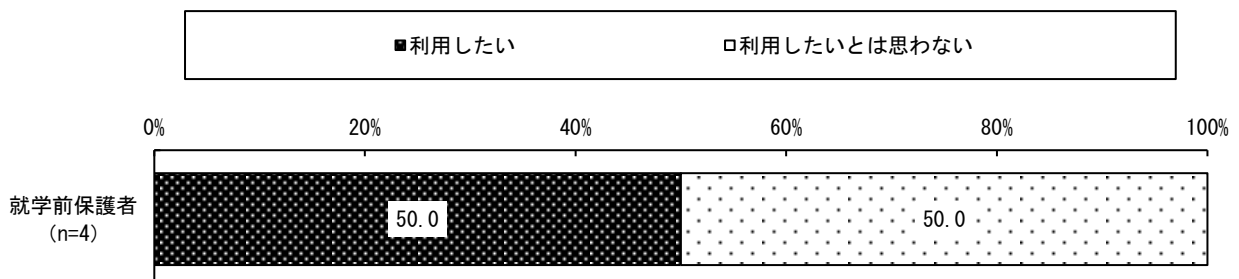
図 2.11-1② 育児のリフレッシュでの利用の認知



問11-1 問11で「2 利用したことはない」と答えた方にお聞きます。
 ③今後、育児のリフレッシュのために一時預かりを利用したいと思いますか。(1つに○)

「利用したい」「利用したいとは思わない」がともに50.0%となっています。

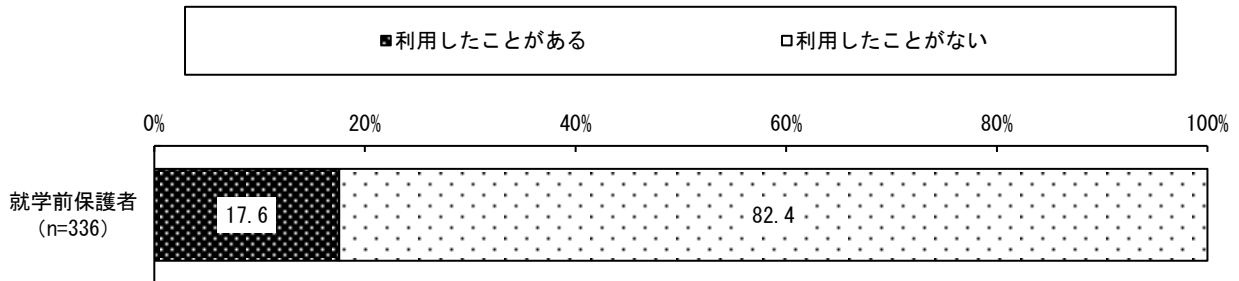
図 2.11-1③ 育児のリフレッシュでの利用意向



問12 これまでに病児・病後児保育施設を利用したことがありますか。(1つに○)

「利用したことがない」が82.4%、「利用したことがある」が17.6%となっています。

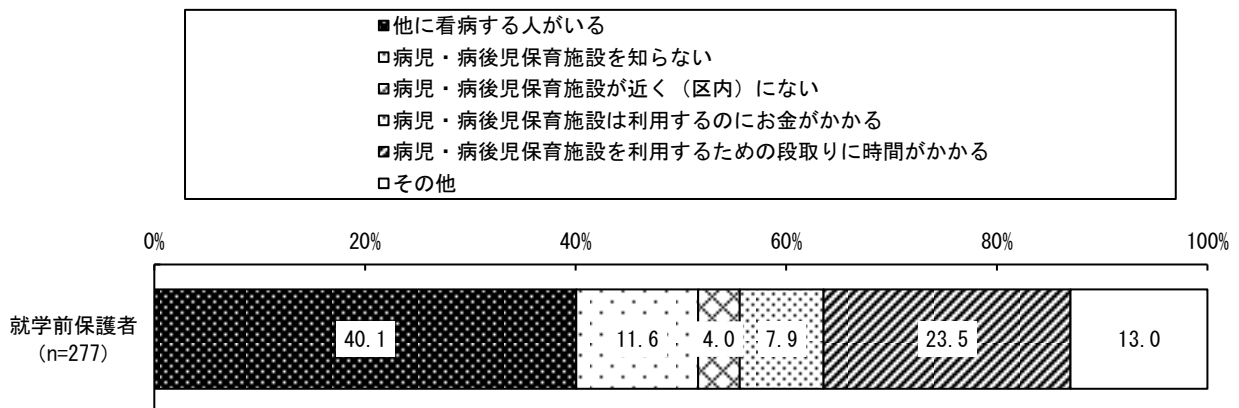
図2.12 病児・病後児保育施設の利用経験



問12-1 問12で「2 利用したことがない」を選択した方にお聞きします。
病児・病後児保育を利用しなかった理由についてお答えください。(1つに○)

「他に看病する人がいる」が40.1%、「病児・病後児保育施設を利用するための段取りに時間がかかる」が23.5%、「病児・病後児保育を知らない」が11.6%となっています。

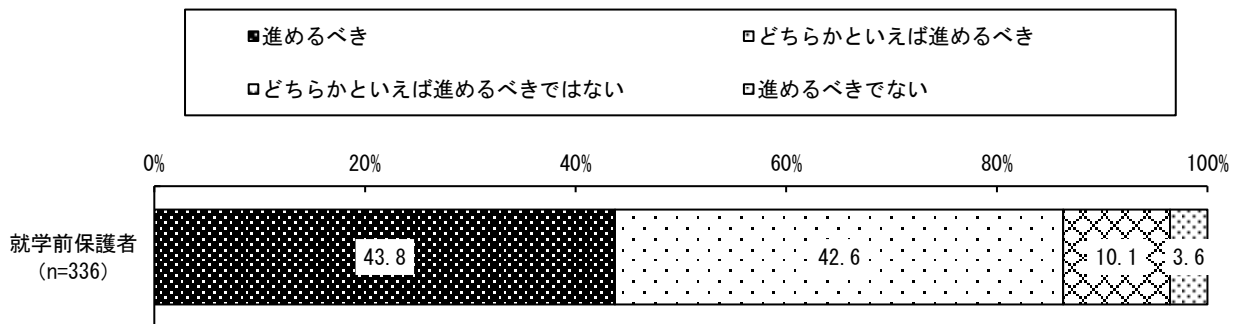
図2.12-1 病児・病後児保育を利用しなかった理由



問 13 現在の保育制度では、全ての保育施設で土曜日も開設し、通常保育を行っていますが、週休2日制が一般化し、土曜日に勤務のない保護者の方には家庭での保育をお願いしているところです。
 今後、子ども達と過ごす時間の確保、保育士の働き方改革などを進める上で、お盆など多くの企業が休みとなる期間については、勤務のない保護者に対して家庭での保育の推奨を積極的に進めることを検討しています。このことについてどのようにお考えですか。（1つに○）

「進めるべき」が43.8%、「どちらかといえば進めるべき」が42.6%、「どちらかといえば進めるべきではない」が10.1%、「進めるべきではない」が3.6%となっています。

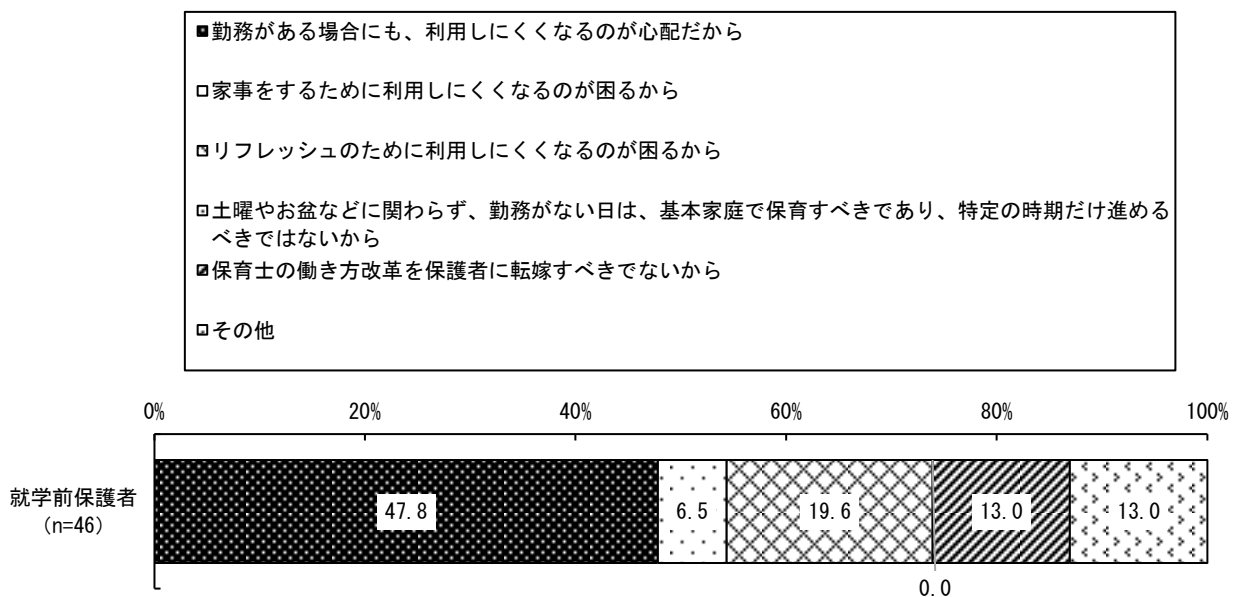
図 2.13 家庭での保育推奨に対する考え



問13-1 問13で「3 どちらかといえば進めるべきではない」、「4 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
 それはなぜですか。（1つに○）

「勤務がある場合にも、利用しにくくなるのが心配だから」が47.8%、「リフレッシュのために利用しにくくなるのが困るから」が19.6%となっています。

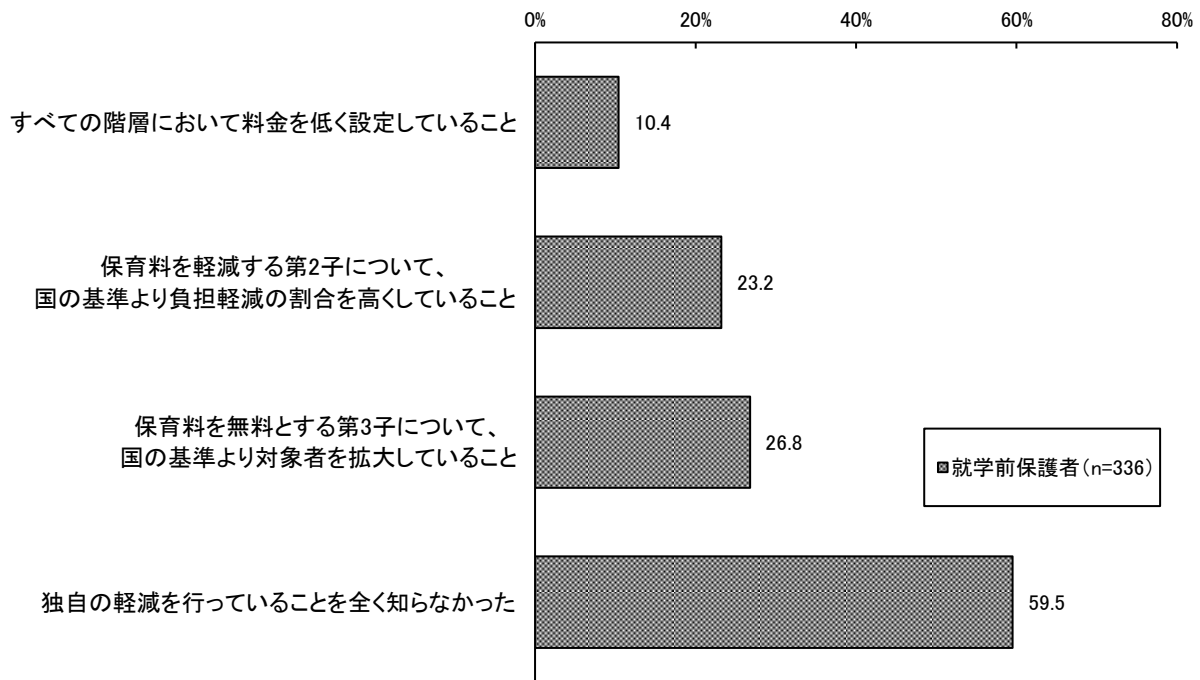
図 2.13-1 家庭での保育推奨に反対する理由



問 14 新潟市では、0～2歳児の保育料の負担を軽減するため、国の基準を上回る軽減をしています。※国の基準を上回る軽減は、市独自の施策のため、市が保育料を負担しています。これらの独自軽減のうち、あなたが知っているものをお答えください。（あてはまるもの全てに○）

「独自の軽減を行っていることを全く知らなかった」が59.5%、「保育料を無料とする第3子について、国の基準より対象者を拡大していること」が26.8%、「保育料を軽減する第2子について、国の基準より負担軽減の割合を高くしていること」が23.2%となっています。

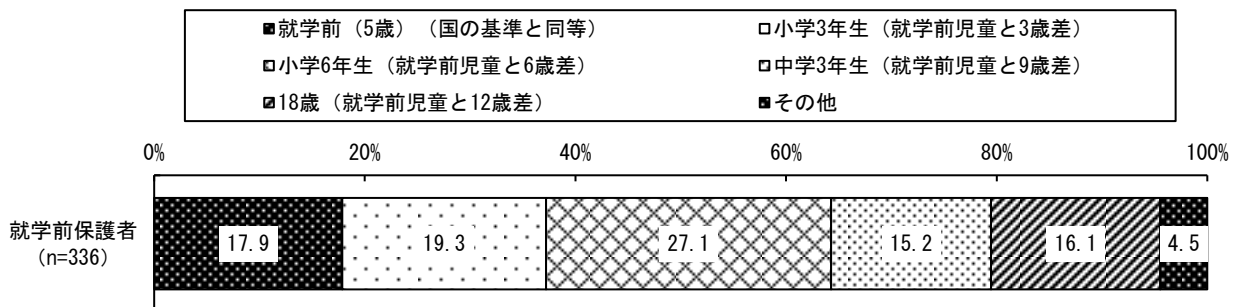
図 2.14 幼児教育・保育の無償化による経済的負担感の変化



問 15 第2子以降の保育料負担を軽減するための第1子の上限年齢について、あなたが適切と思う第1子の上限年齢をお答えください。（1つに○）

「小学6年生（就学前児童と6歳差）」が27.1%、「小学3年生（就学前児童と3歳差）」が19.3%、「就学前（5歳）（国の基準と同等）」が17.9%、「18歳（就学前児童と12歳差）」が16.1%、「中学3年生（就学前児童と9歳差）」が15.2%、となっています。

図 2.15 第2子以降の保育料負担を軽減するための第1子の上限年齢

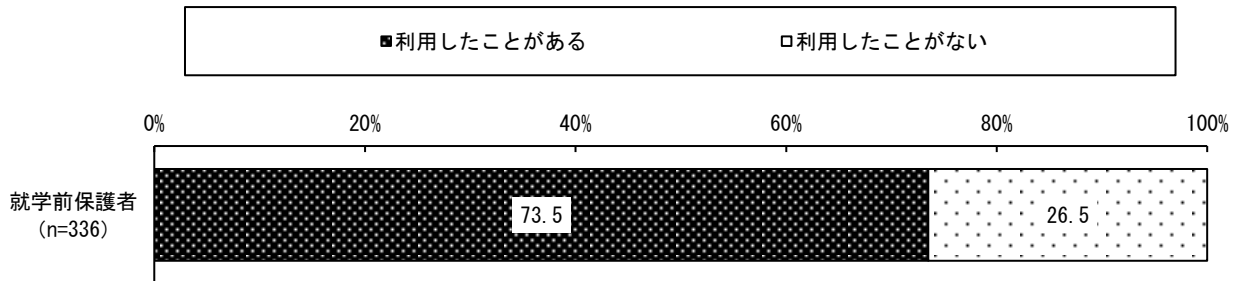


3 地域子育て支援センターについて

問16 これまでに地域子育て支援センターを利用したことがありますか。(1つに○)

「利用したことがある」が73.5%、「利用したことがない」が26.5%となっています。

図 2.16 地域子育て支援センターの利用経験

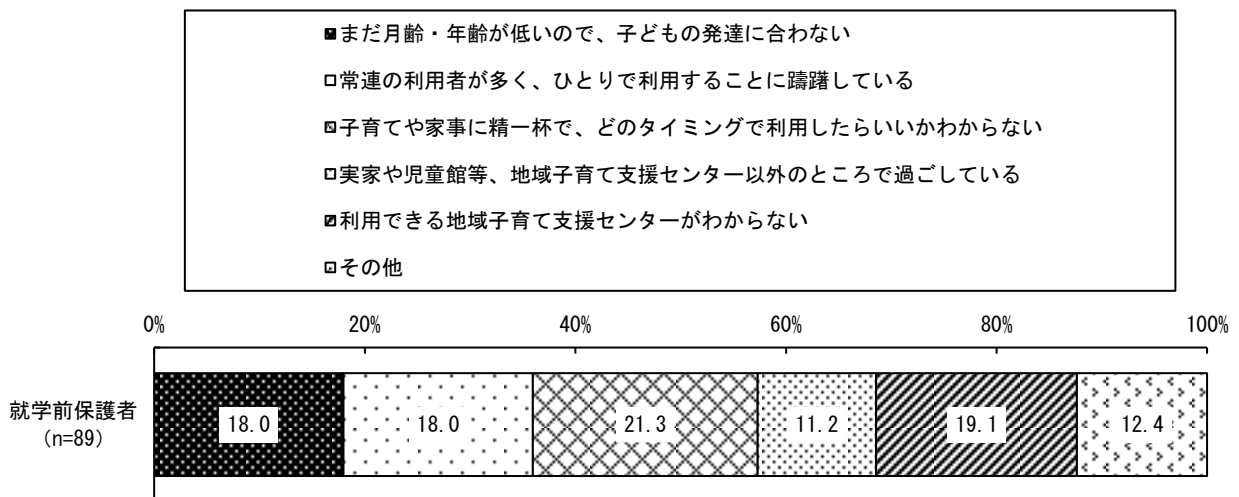


問16-1 問16で「2 利用したことがない」を選択した方にお聞きします。

問16-1 センターを利用したことがない理由についてお答えください。(1つに○)

「子育てや家事に精一杯で、どのタイミングで利用したらいいかわからない」が21.3%、「利用できる地域子育て支援センターがわからない」が19.1%、「まだ月齢・年齢が低いので、子どもの発達に合わない」「常連の利用者が多く、ひとりで利用することに躊躇している」がそれぞれ18.0%となっています。

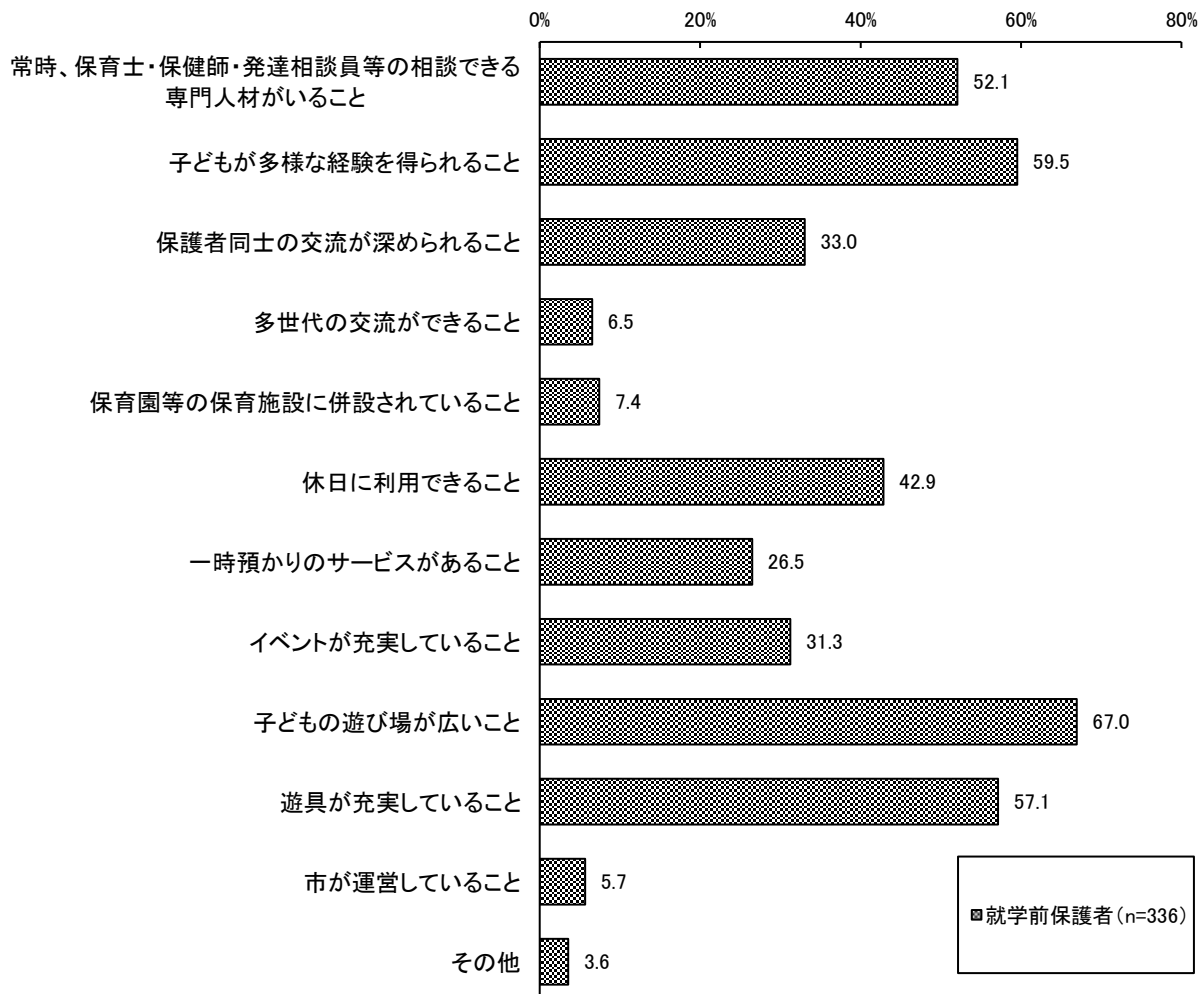
図 2.16-1 地域子育て支援センターを利用していない理由



問17 地域子育て支援センターは、就学前のお子さんと保護者であれば、保育園等に入園されている方を含め、どなたでもご利用できる施設です。あなたが利用したいと思う、地域子育て支援センターの条件等についてお答えください（5つまで〇）

「子どもの遊び場が広いこと」が67.0%、「子どもが多様な経験を得られること」が59.5%、「遊具が充実していること」が57.1%、「常時、保育士・保健師・発達相談員等の相談できる専門人材がいること」が52.1%、「休日に利用できること」が42.9%となっています。

図 2.17 利用したいと思う地域子育て支援センターの条件



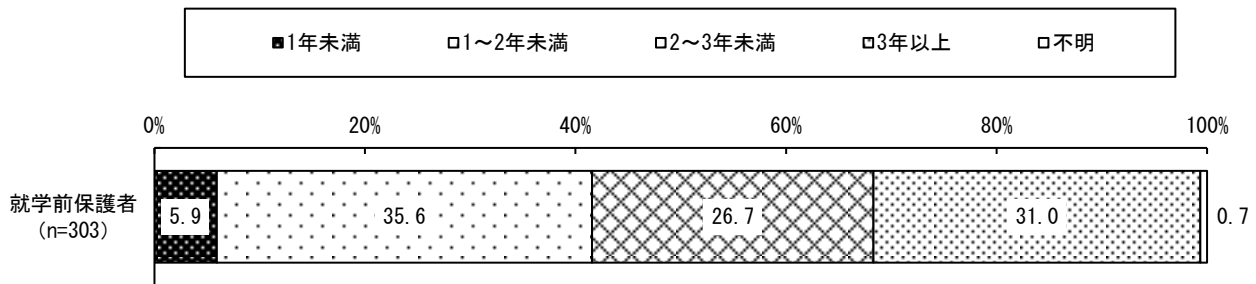
4 育児休暇について

問18 就労している方にお聞きします。あなたが理想とする育児休暇の期間と、実際に取得した育児休暇の期間についてそれぞれお答えください。

① 理想とする育児休暇の期間

理想とする育児休暇の期間は、「1年～2年未満」が35.6%、「3年以上」が31.0%、「2年～3年未満」が26.7%となっています。

図 2.18① 理想とする育児休暇の期間

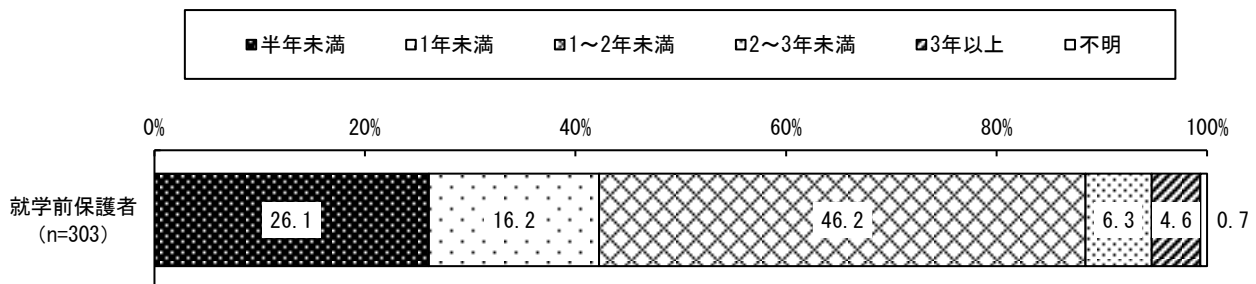


問18 就労している方にお聞きします。あなたが理想とする育児休暇の期間と、実際に取得した育児休暇の期間についてそれぞれお答えください。

② 実際に取得した育児休暇の期間

実際に取得した育児休暇の期間は、「1年～2年未満」が46.2%、「半年未満」が26.1%となっています。

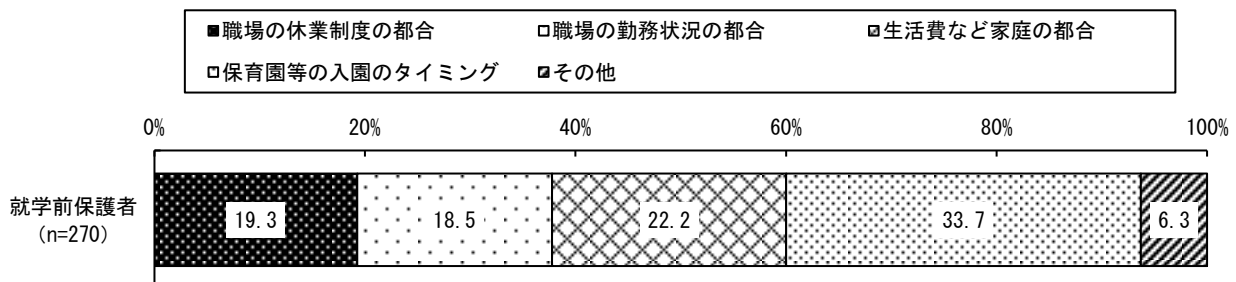
図 2.18② 実際に取得した育児休暇の期間



問18-1 問18で①と②に差があった方にお聞きします。差の理由は何ですか。

「保育園等の入園のタイミング」が33.7%、「生活費など家庭の都合」が22.2%、「職場の休暇制度の都合」が19.3%、「職場の勤務状況の都合」が18.5%となっています。

図 2.18② 実際に取得した育児休暇の期間

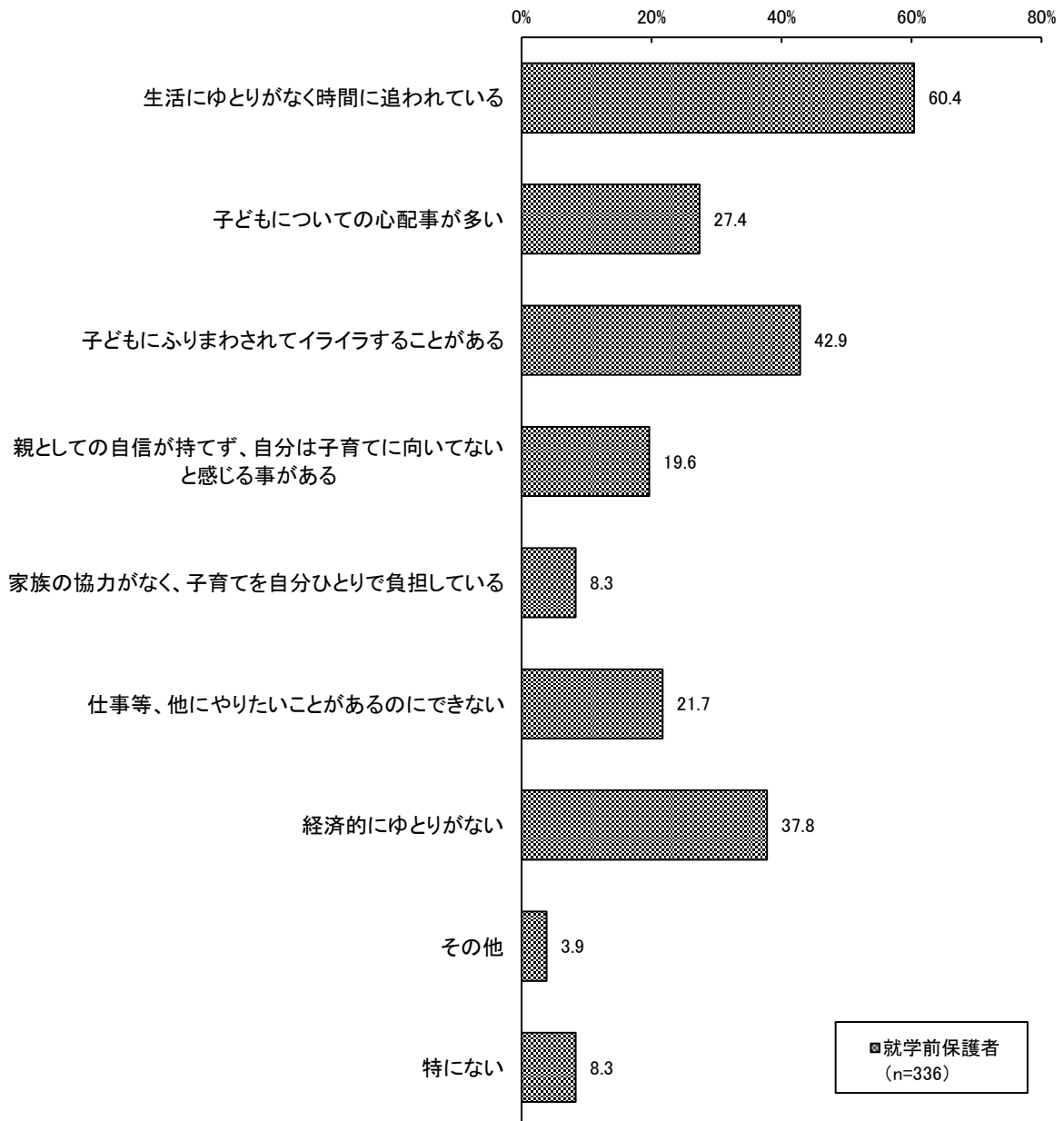


5 子育てについて

問19 あなたが子育てで負担と感ずることは何ですか。(3つまで○)

子育てで負担と感ずることは、「生活にゆとりがなく時間に追われる」が60.4%、「子どもにふりまわされてイライラすることがある」が42.9%、「経済的にゆとりがない」が37.8%、「子どもについての心配事が多い」が27.4%となっています。

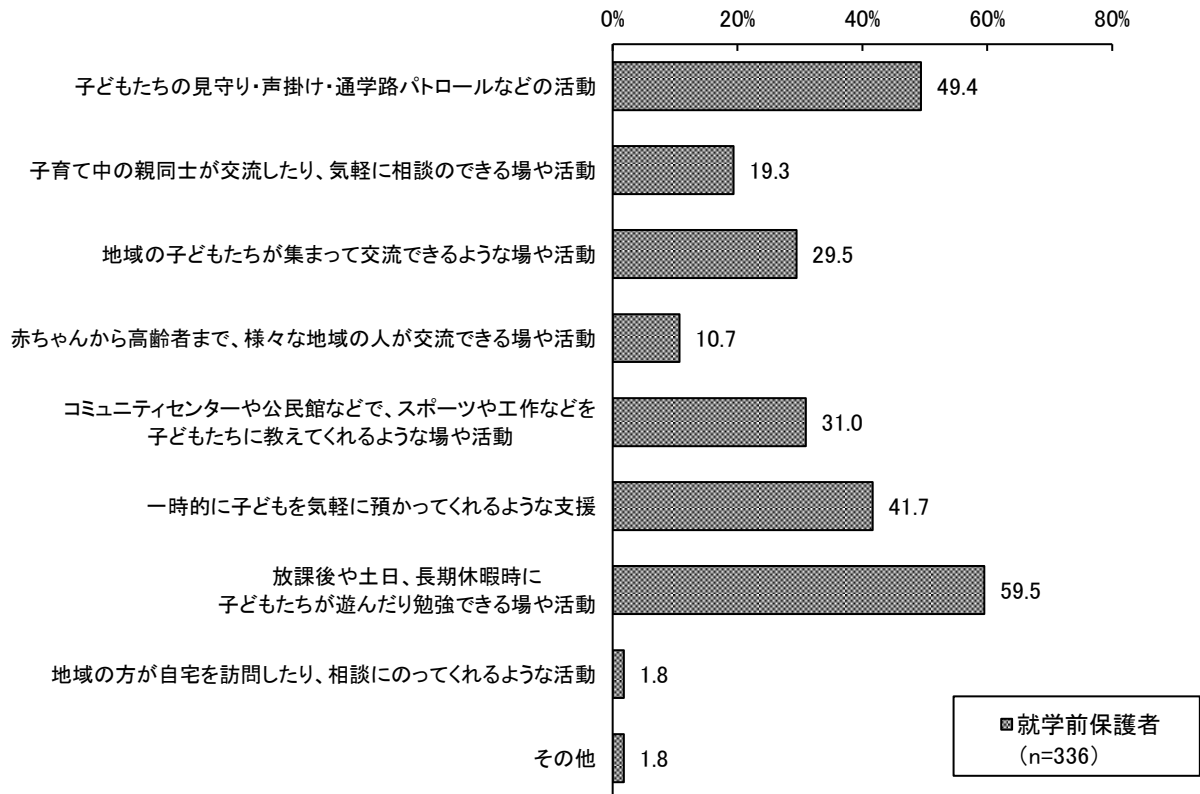
図 2.19 子育てで負担と感ずること



問20 あなたは、身近な地域で、地域の方々が主体となつて行う子育て支援の活動として、どんなものがあつたらよいと思いますか。（3つまで○）

地域主体で行う子育て支援活動への希望は、「放課後や土日、長期休暇時に子どもたちが遊んだり勉強できる場や活動」が59.5%、「子どもたちの見守り・声掛け・通学路パトロールなどの活動」が49.4%、「一時的に子どもを気軽に預かってくれるような支援」が41.7%、「コミュニティセンターや公民館などで、スポーツや工作などを子どもたちに教えてくれるような場や活動」が31.0%となっています。

図 2.20 地域主体で行う子育て支援活動への希望

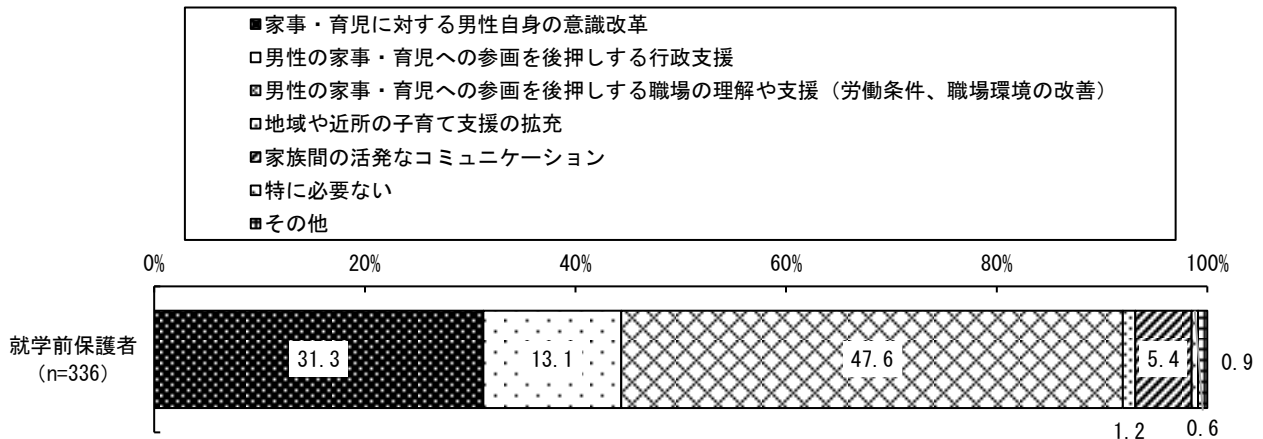


問21 男性の家事・育児についてお聞きします。

① 男性の家事・育児への参画を促進するためには何が必要だと思いますか。(1つに○)

「男性の家事・育児への参画を後押しする職場の理解や支援(労働条件、職場環境の改善)」が47.6%、「家事・育児に対する男性自身の意識改革」が31.3%となっています。

図 2.21① 男性の家事・育児への参画のために必要なこと

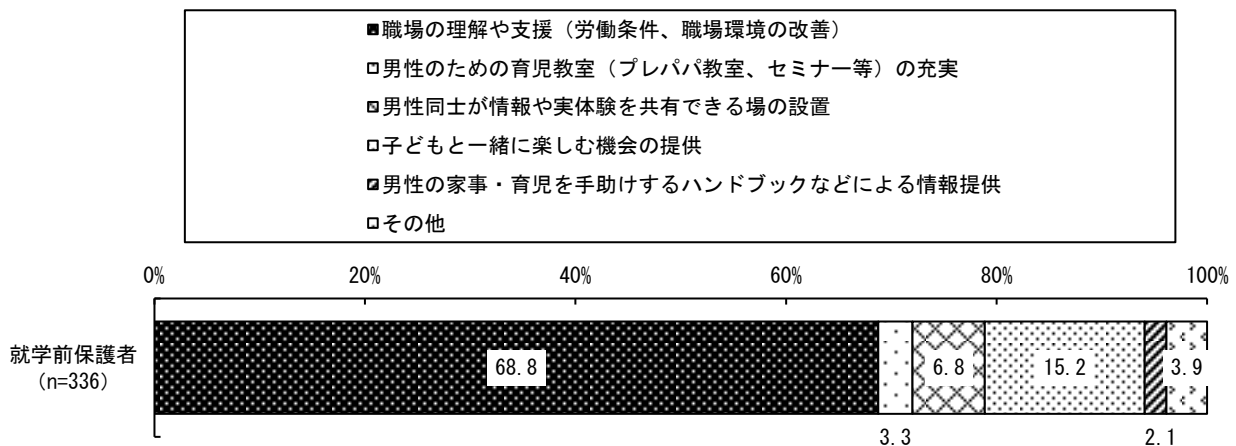


問21 男性の家事・育児についてお聞きします。

② 男性の家事・育児への参画を啓発するためには何が有効だと思いますか。(1つに○)

「職場の理解や支援(労働条件、職場環境の改善)」が68.8%、「子どもと一緒に楽しむ機会の提供」が15.2%となっています。

図 2.21② 男性の家事・育児への参画を啓発するために有効なこと



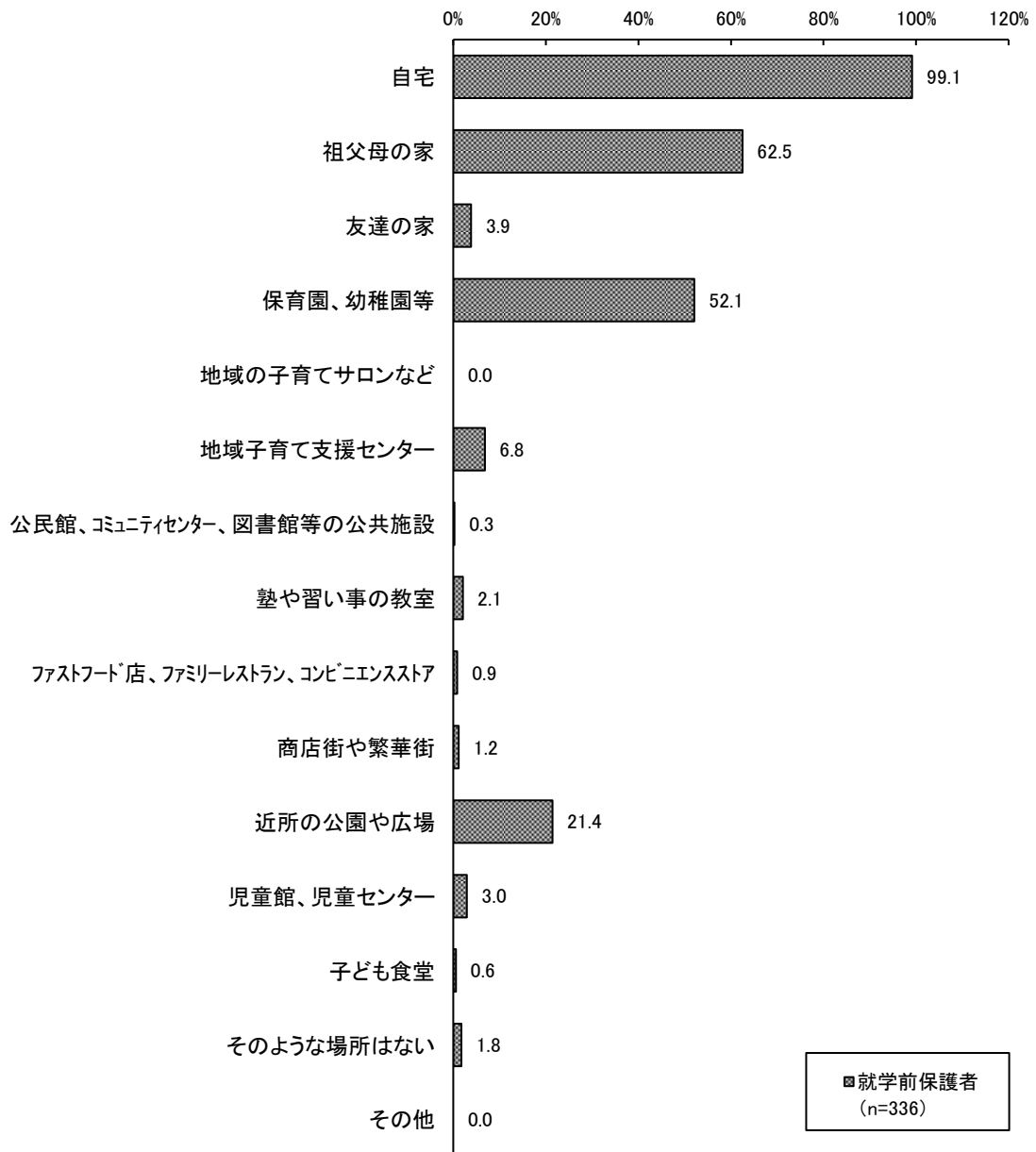
6 居場所について

問22 あなたのお子さんについてお聞きします。

① 子どもにとって居心地のよい場所はどこだと思いますか。（3つまで○）

子どもにとって居心地のよい場所は、「自宅」が99.1%、「祖父母の家」が62.5%、「保育園、幼稚園等」が52.1%、「近所の公園や広場」が21.4%となっています。

図 2.22① 子どもにとって居心地のよい場所

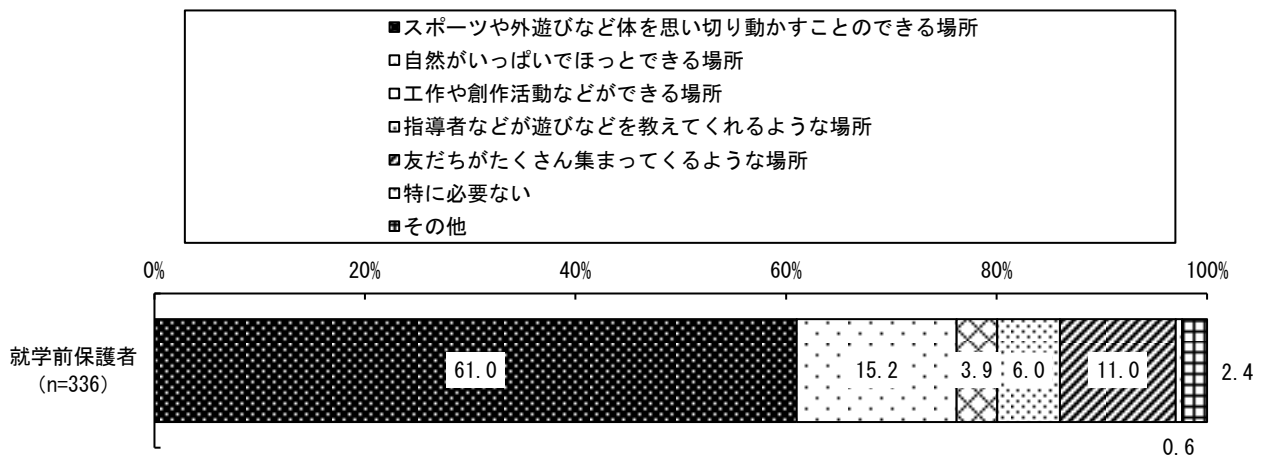


問22 あなたのお子さんについてお聞きします。

② 子どもにとって今、活動に一番必要な場所はどれだと思いますか。(1つに○)

子どもにとって今一番必要な場所は、「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことのできる場所」が61.0%、「自然がいっぱいでほっとできる場所」が15.2%、「友だちがたくさん集まってくるような場所」が11.0%となっています。

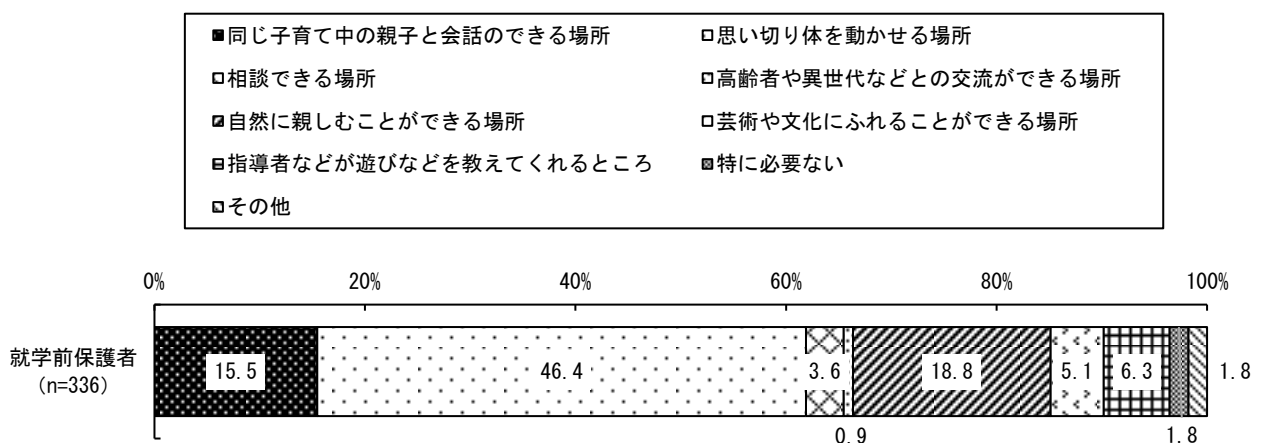
図 2.22② 子どもにとって今一番必要な場所



問23 あなたにお聞きします。親子で過ごせる場所として、今最も必要としているものはどれですか。(1つに○)

親子で過ごすのに必要な場所は、「思い切り体を動かせる場所」が46.4%、「自然に親しむことができる場所」が18.8%、「同じ子育て中の親子と話のできる場所」が15.5%となっています。

図 2.23 親子で過ごすのに必要な場所

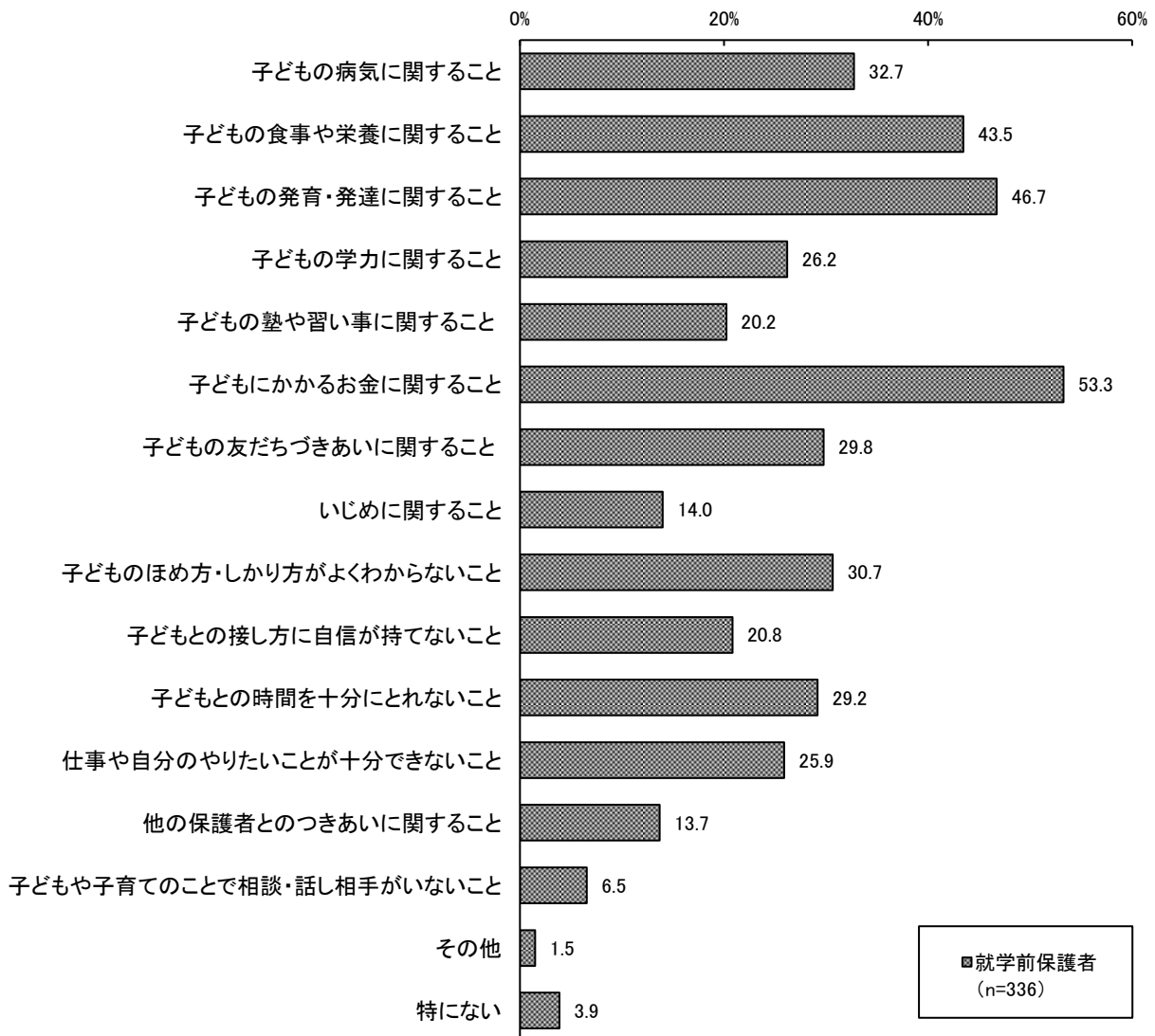


7 悩みや相談について

問24 あなたにお聞きします。日ごろの子育ての中で、悩みや不安を感じることはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもにかかるお金に関すること」が 53.3%、「子どもの発育・発達に関すること」が 46.7%、「子どもの食事や栄養に関すること」が 43.5%となっています。

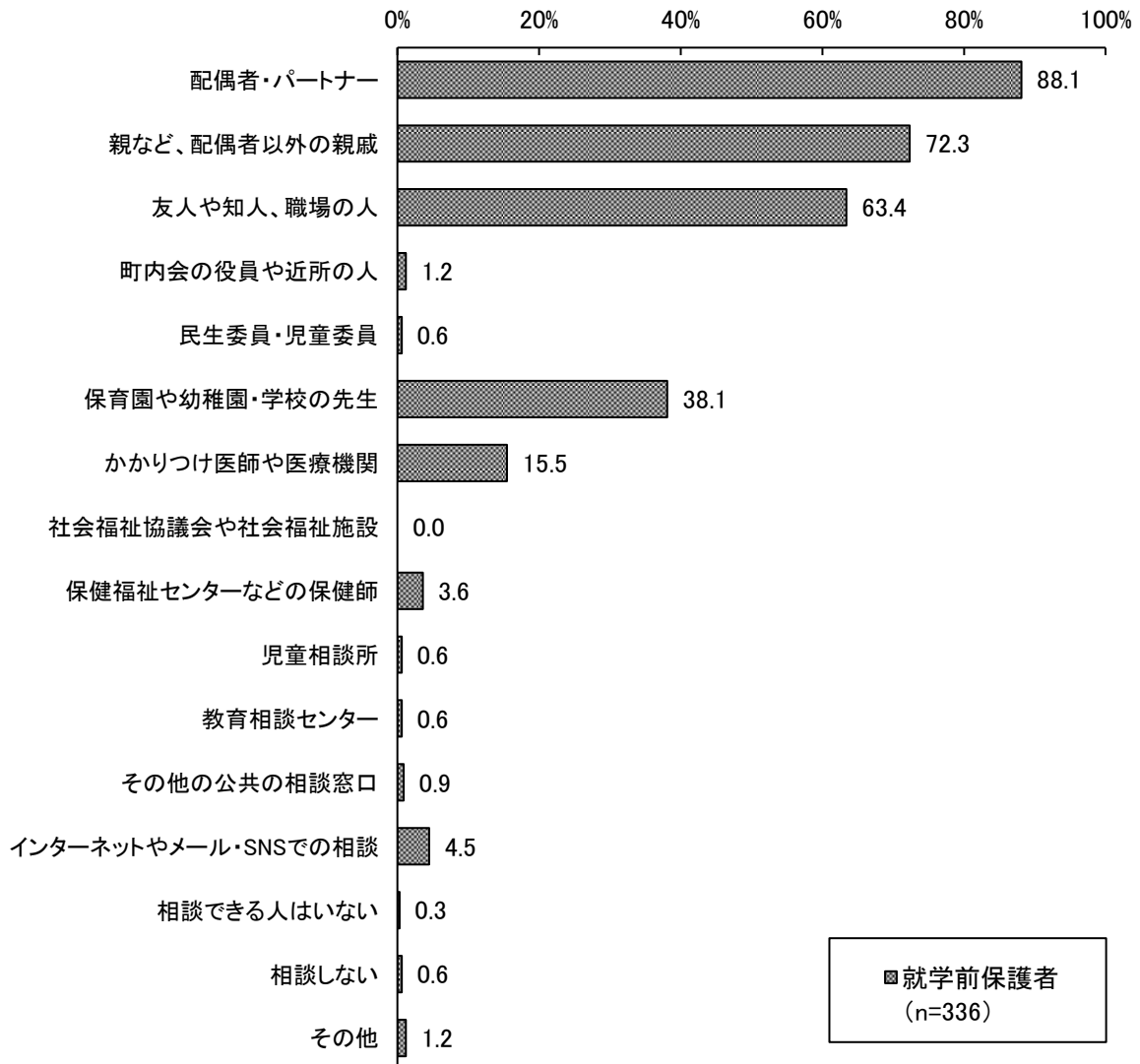
図 2.24 子育ての悩みや不安



問25 あなたにお聞きします。あなたが子育てや子どものことに関して悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またはどんな場所ですか。（あてはまるものすべてに○）

子育てに関する悩みや不安の相談先は、「配偶者・パートナー」が88.1%、「親など、配偶者以外の親戚」が72.3%、「友人や知人、職場の人」が63.4%、「保育園や幼稚園・学校の先生」が38.1%となっています。

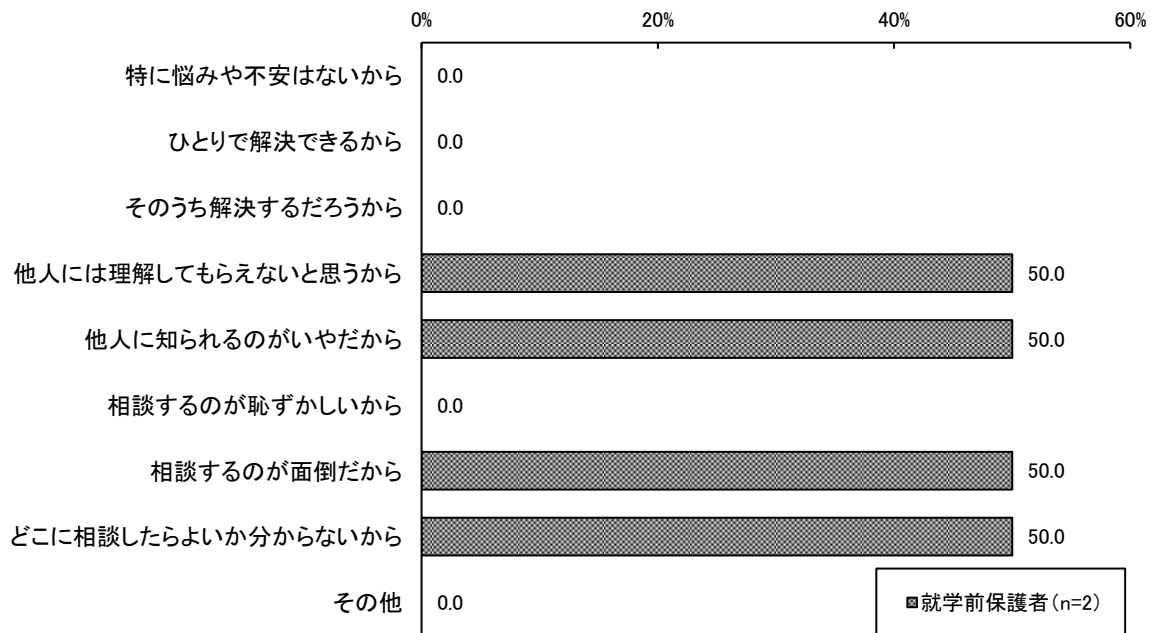
図 2.25 子育てに関する悩みや不安の相談先



問25-1 「15 相談しない」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安を相談しない理由は、「他人には理解してもらえないと思うから」「他人に知られるのがいやだから」「相談するのが面倒だから」「どこに相談したらよいか分からないから」がそれぞれ 50.0% となっています。

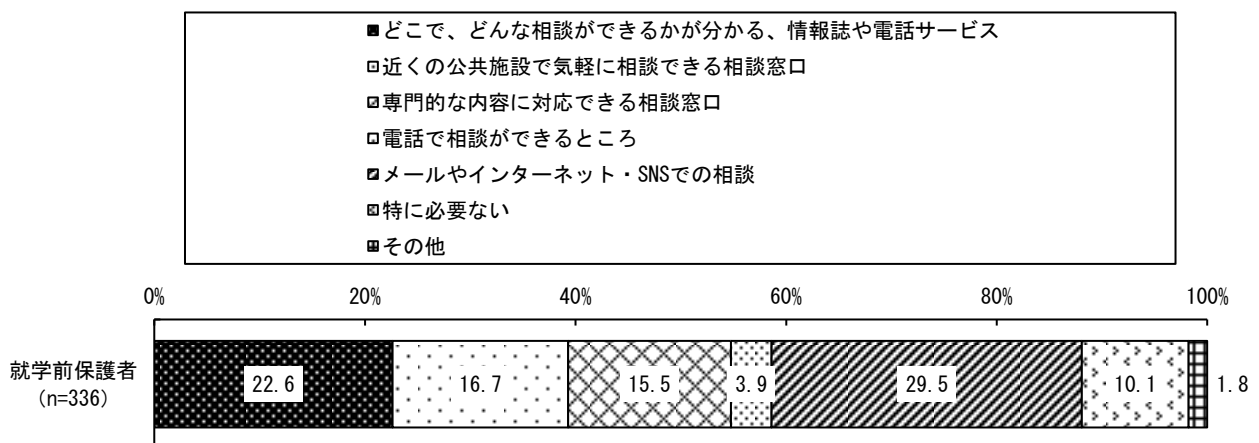
図 2.25-1 悩みや不安を相談しない理由



問26 子育てに関する相談について最も望んでいるものはどれですか。(1つに○)

子育てに関する相談で最も望んでいることは、「メールやインターネット・SNSでの相談」が 29.5%、「どこで、どんな相談ができるかが分かる、情報誌や電話サービス」が 22.6%、「近くの公共施設で気軽に相談できる相談窓口」が 16.7%、「専門的な内容に対応できる相談窓口」が 15.5%、「特に必要ない」が 10.1% となっています。

図 2.26 子育てに関する相談で最も望んでいること

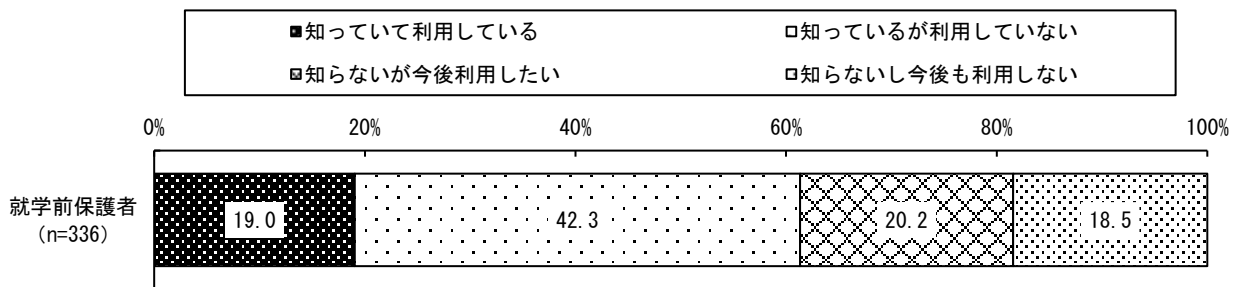


8 子育てに関する情報について

問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 A. 子育て応援パンフレットスキップ（1つに○）

「子育て応援パンフレットスキップ」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が19.0%、「知っているが利用していない」が42.3%、「知らないが今後利用したい」が20.2%、「知らないし今後利用しない」が18.5%となっています。

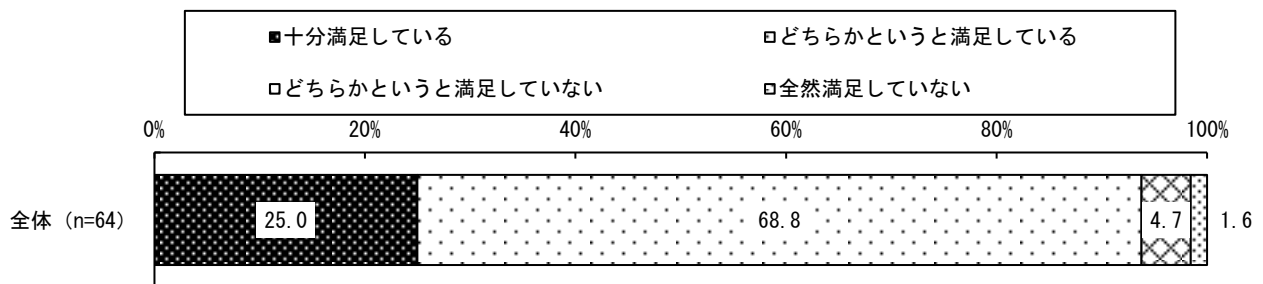
図 2.27①A 「子育て応援パンフレットスキップ」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 A. 子育て応援パンフレットスキップ（1つに○）

「子育て応援パンフレットスキップ」の満足度は、「十分満足している」が25.0%、「どちらかという満足している」が68.8%、「どちらかという満足していない」が4.7%、「全然満足していない」が1.6%となっています。

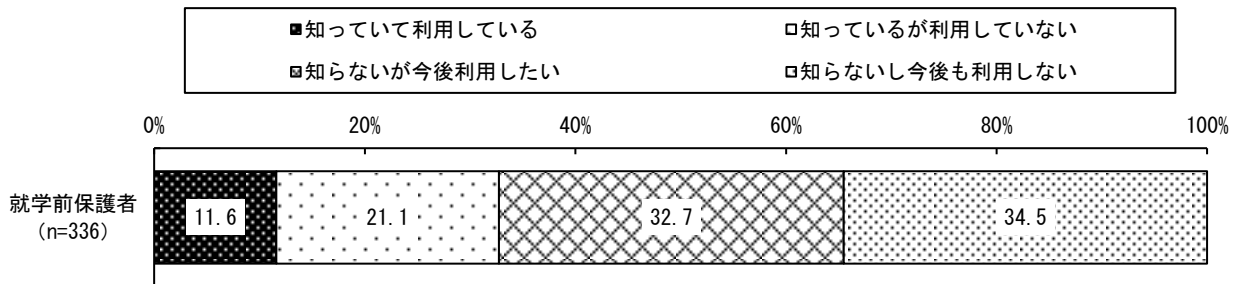
図 2.27②A 「子育て応援パンフレットスキップ」の満足度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 B. にいがた子育て応援アプリby母子モ（1つに〇）

「にいがた子育て応援アプリ by 母子モ」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が11.6%、「知っているが利用していない」が21.1%、「知らないが今後利用したい」が32.7%、「知らないし今後利用しない」が34.5%となっています。

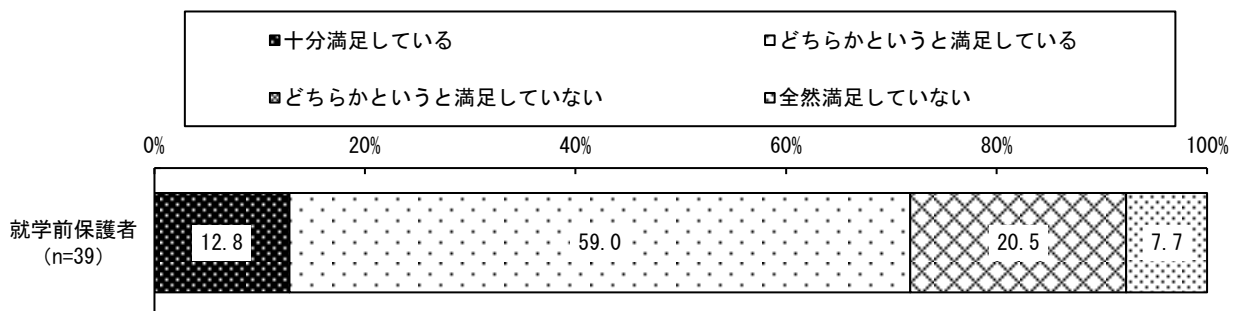
図 2.27①B 「にいがた子育て応援アプリ by 母子モ」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 B. にいがた子育て応援アプリby母子モ（1つに〇）

「にいがた子育て応援アプリ by 母子モ」の満足度は、「十分満足している」が12.8%、「どちらかという満足している」が59.0%、「どちらかという満足していない」が20.5%、「全然満足していない」が7.7%となっています。

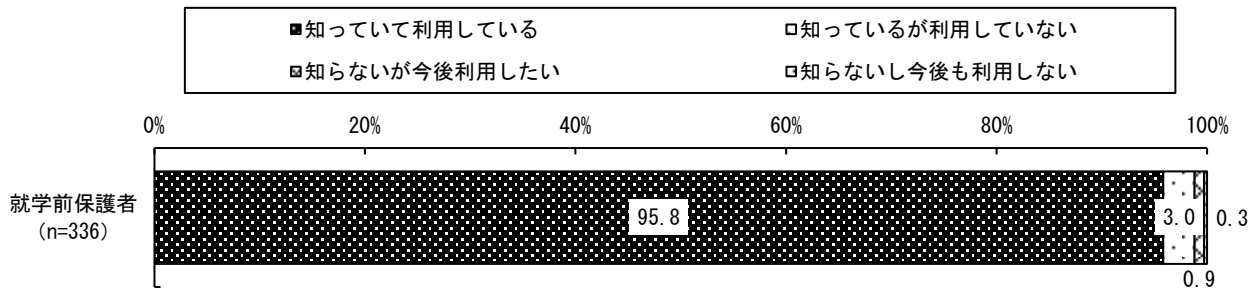
図 2.27②B 「にいがた子育て応援アプリ by 母子モ」の満足度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 C. にいがたっすこやかパスポート（1つに○）

「にいがたっすこやかパスポート」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が95.8%、「知っているが利用していない」が3.0%、「知らないが今後利用したい」が0.9%、「知らないし今後利用しない」が0.3%となっています。

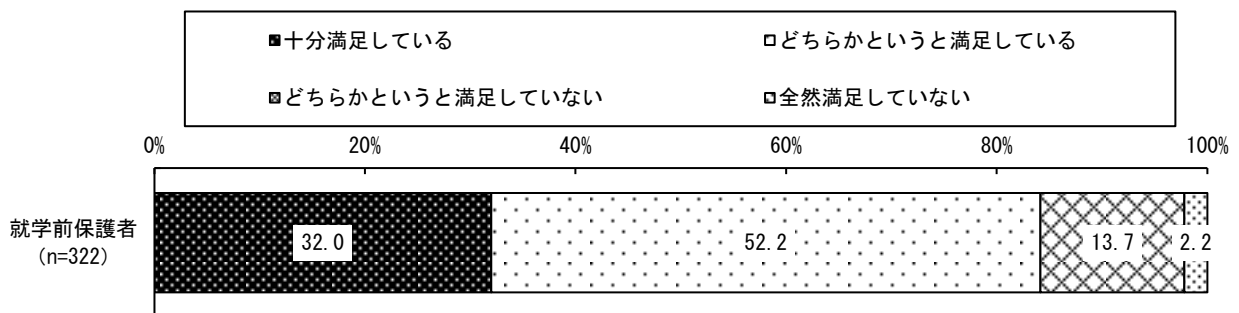
図 2.27①C 「にいがたっすこやかパスポート」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 C. にいがたっすこやかパスポート（1つに○）

「にいがたっすこやかパスポート」の満足度は、「十分満足している」が32.0%、「どちらかという満足している」が52.2%、「どちらかという満足していない」が13.7%、「全然満足していない」が2.2%となっています。

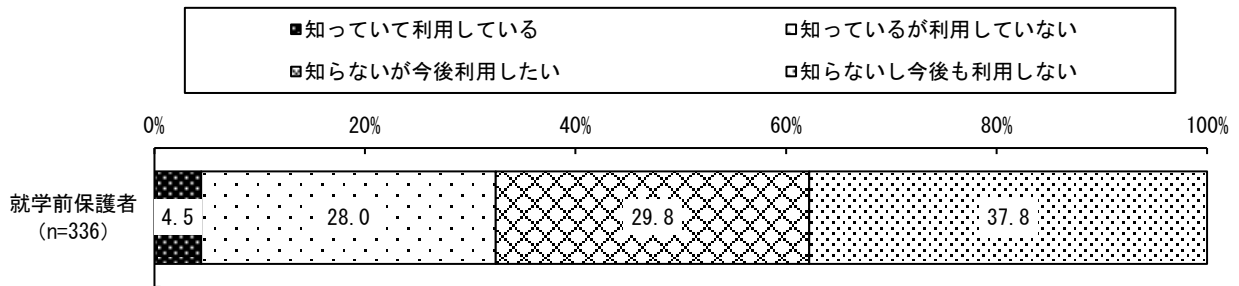
図 2.27②C 「にいがたっすこやかパスポート」の満足度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 D. 子育てなんでも相談センターきらきら（1つに〇）

「子育てなんでも相談センターきらきら」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が4.5%、「知っているが利用していない」が28.0%、「知らないが今後利用したい」が29.8%、「知らないし今後利用しない」が37.8%となっています。

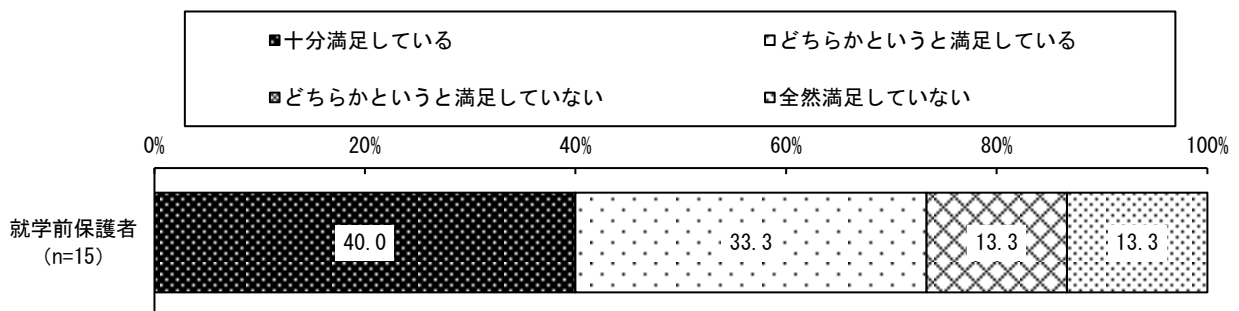
図 2.27①D 「子育てなんでも相談センターきらきら」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 D. 子育てなんでも相談センターきらきら（1つに〇）

「子育てなんでも相談センターきらきら」の満足度は、「十分満足している」が40.0%、「どちらかという満足している」が33.3%、「どちらかという満足していない」が13.3%、「全然満足していない」が13.3%となっています。

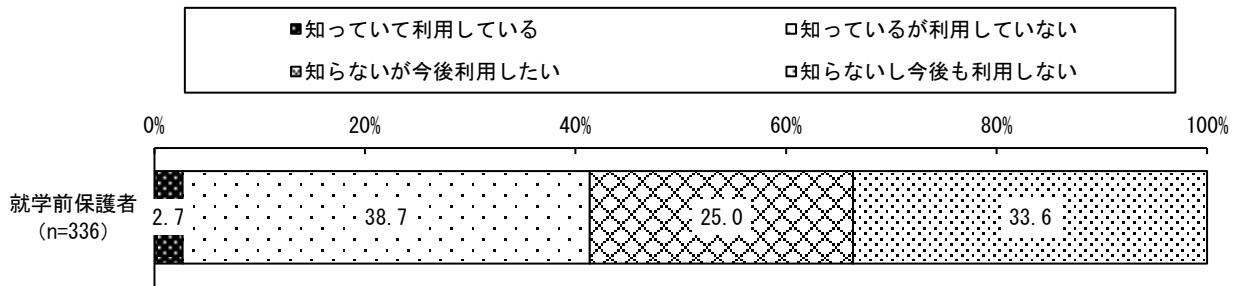
図 2.27②D 「子育てなんでも相談センターきらきら」の満足度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 E. ファミリー・サポート・センター（1つに○）

「ファミリー・サポート・センター」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が2.7%、「知っているが利用していない」が38.7%、「知らないが今後利用したい」が25.0%、「知らないし今後も利用しない」が33.6%となっています。

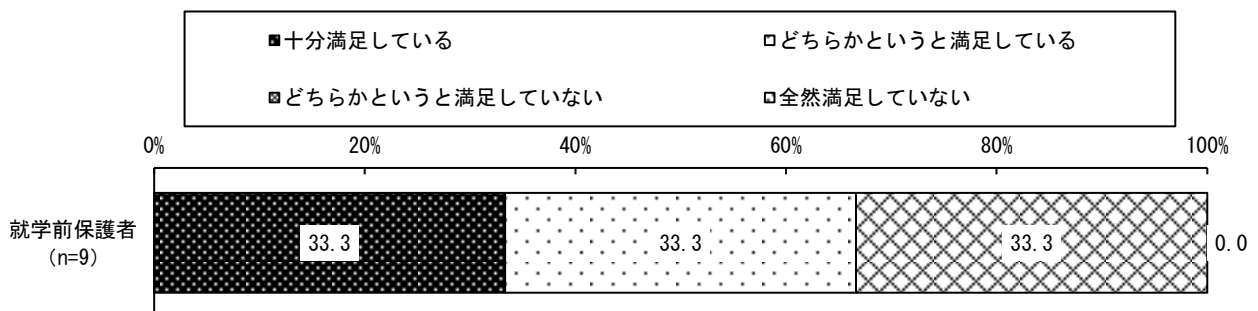
図 2.27①E 「ファミリー・サポート・センター」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 E. ファミリー・サポート・センター（1つに○）

「ファミリー・サポート・センター」の満足度は、「十分満足している」が33.3%、「どちらかという満足している」が33.3%、「どちらかという満足していない」が33.3%、「全然満足していない」が0.0%となっています。

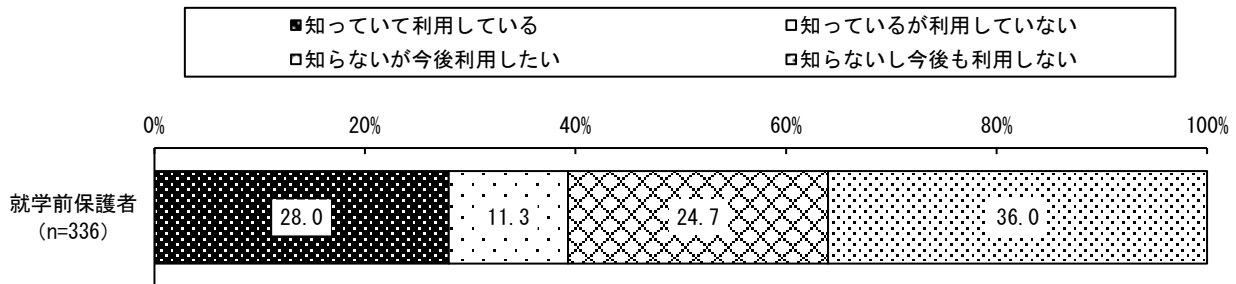
図 2.27②E 「ファミリー・サポート・センター」の満足度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ①知っていて利用したことはありますか
 F. 新潟市公式LINE（1つに〇）

「新潟市公式LINE」の認知度・利用度は、「知っていて利用している」が28.0%、「知っているが利用していない」が11.3%、「知らないが今後利用したい」が24.7%、「知らないし今後も利用しない」が36.0%となっています。

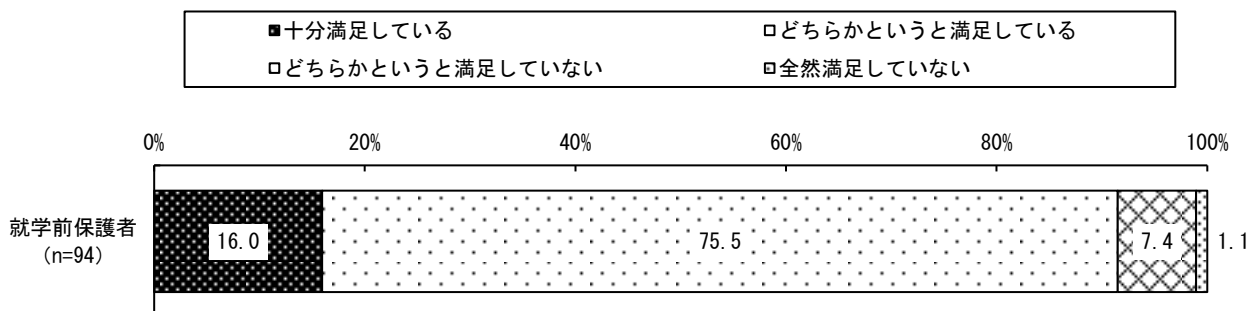
図 2.27①F 「新潟市公式LINE」の認知度・利用度



問27 子育て支援に関するサービスや情報入手手段について、
 ②利用したことがある方は、その内容に満足していますか
 F. 新潟市公式LINE（1つに〇）

「新潟市公式LINE」の満足度は、「十分満足している」が16.0%、「どちらかという満足している」が75.5%、「どちらかという満足していない」が7.4%、「全然満足していない」が1.1%となっています。

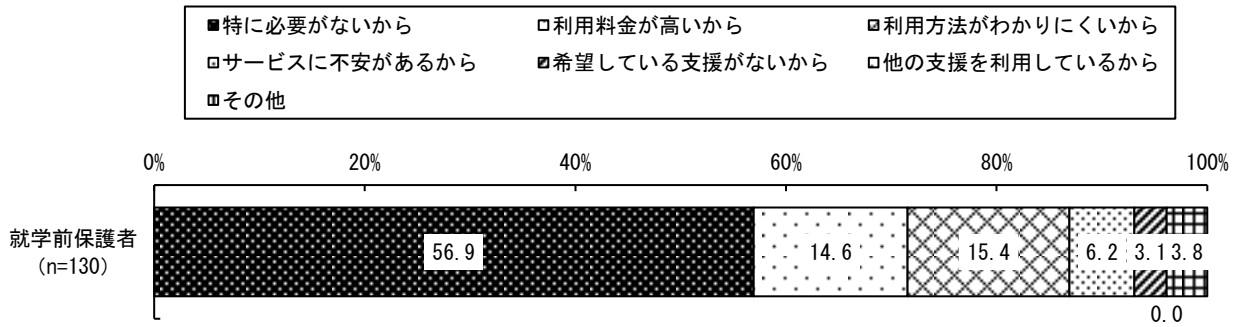
図 2.27②F 「新潟市公式LINE」の満足度



問27-1 問27で「E. ファミリー・サポート・センター」について、「2 知っているが、利用していない」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。（1つに○）

「ファミリー・サポート・センター」を利用していない理由は、「特に必要ないから」が56.9%、「利用方法がわかりにくいから」が15.4%、「利用料金が高いから」が14.6%となっています。

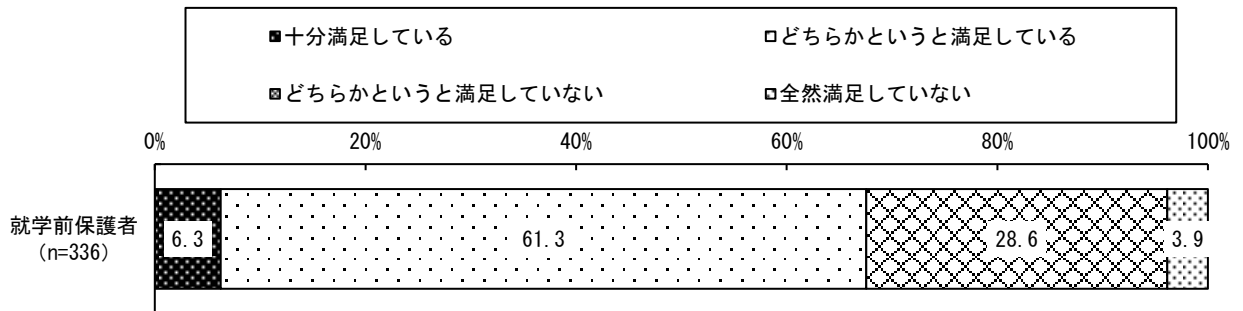
図 2.27-1 「ファミリー・サポート・センター」を利用していない理由



問28 あなたは現在、子育てに関する情報に満足していますか。(1つに○)

子育てに関する情報の満足度は、「十分満足している」が6.3%、「どちらかという満足している」が61.3%、「どちらかという満足していない」が28.6%、「全然満足していない」が3.9%となっています。

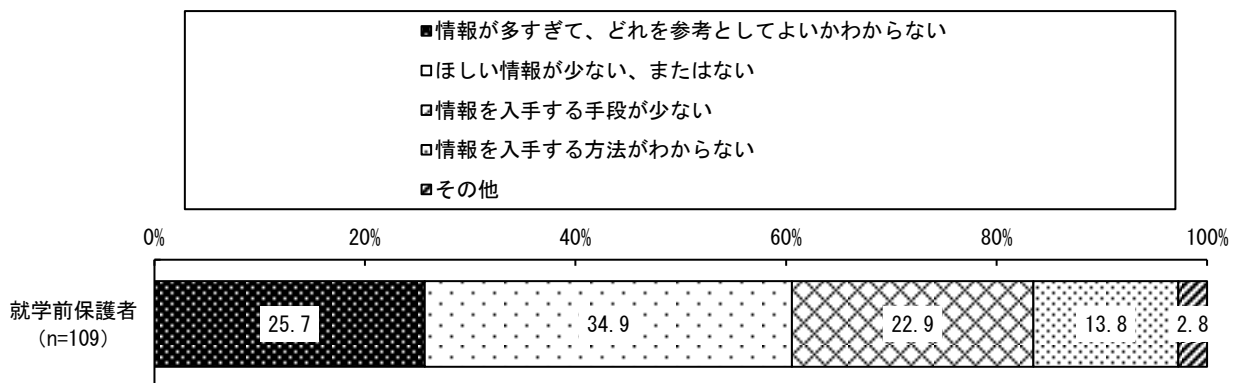
図 2.28 子育てに関する情報の満足度



問28-1 「3 どちらかという満足していない」「4 全然満足していない」と答えた方にお聞きします。子育てに関する情報に満足していないのはなぜですか。(1つに○)

満足していない理由は、「情報が多すぎて、どれを参考としてよいかわからない」が25.7%、「ほしい情報が少ない、またはない」が34.9%、「情報を入手する手段が少ない」が22.9%、「情報を入手する方法がわからない」が13.8%となっています。

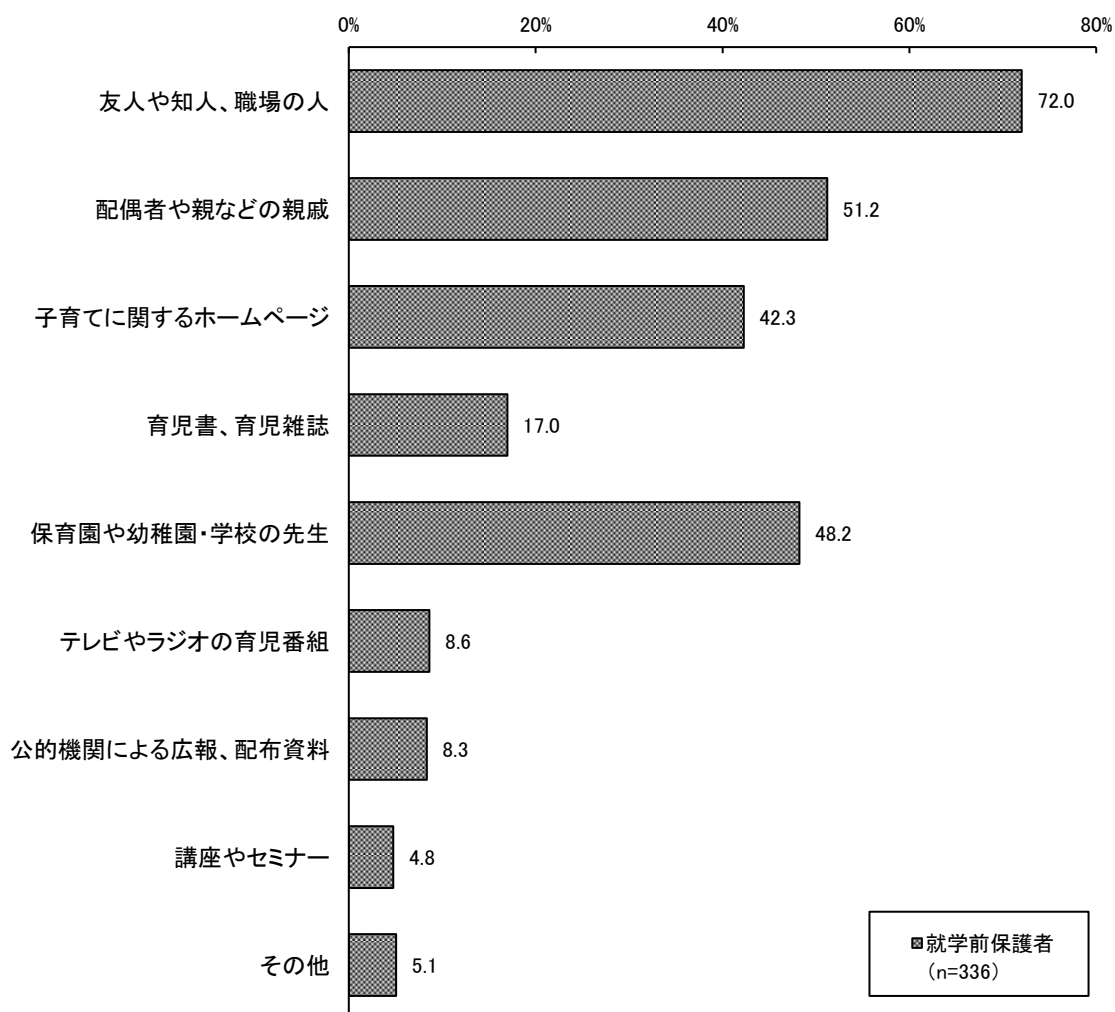
図 2.28-1 満足していない理由



問29 あなたは子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。（3つまで〇）

信頼している子育てに関する情報源は、「友人や知人、職場の人」が72.0%、「配偶者や親などの親戚」が51.2%、「保育園や幼稚園・学校の先生」が48.2%、「子育てに関するホームページ」が42.3%、「育児書、育児雑誌」が17.0%となっています。

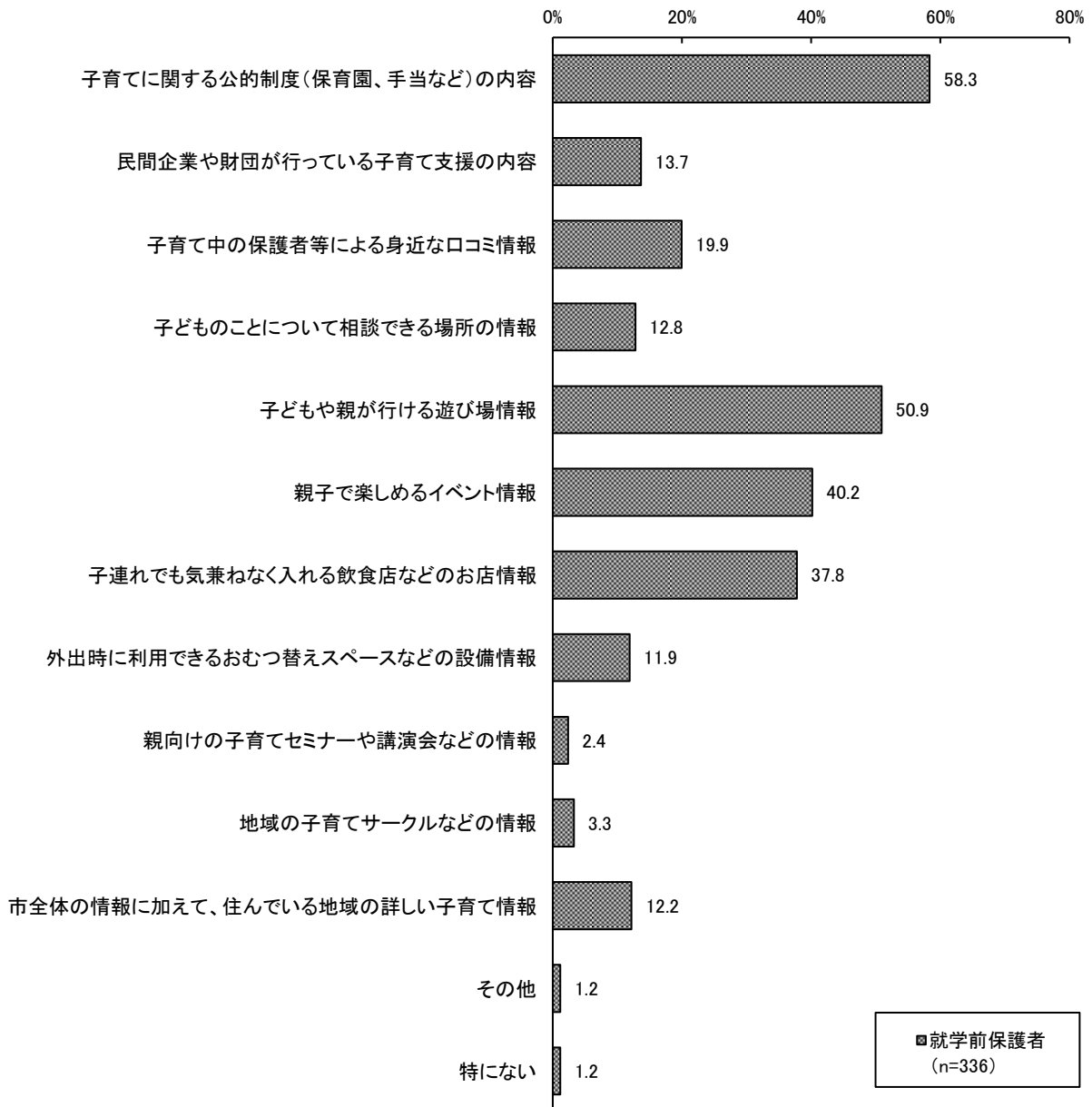
図 2.29 信頼している子育てに関する情報源



問30 あなたは子育てに関してどのような情報が必要ですか。（3つまで○）

子育てに関して必要な情報は、「子育てに関する公的制度（保育園、手当など）の内容」が58.3%、「子どもや親が行ける遊び場情報」が50.9%、「親子で楽しめるイベント情報」が40.2%、「子連れでも気兼ねなく入れる飲食店などのお店情報」が37.8%、「子育て中の保護者等による身近な口コミ情報など」が19.9%となっています。

図 2.30 子育てに関して必要な情報

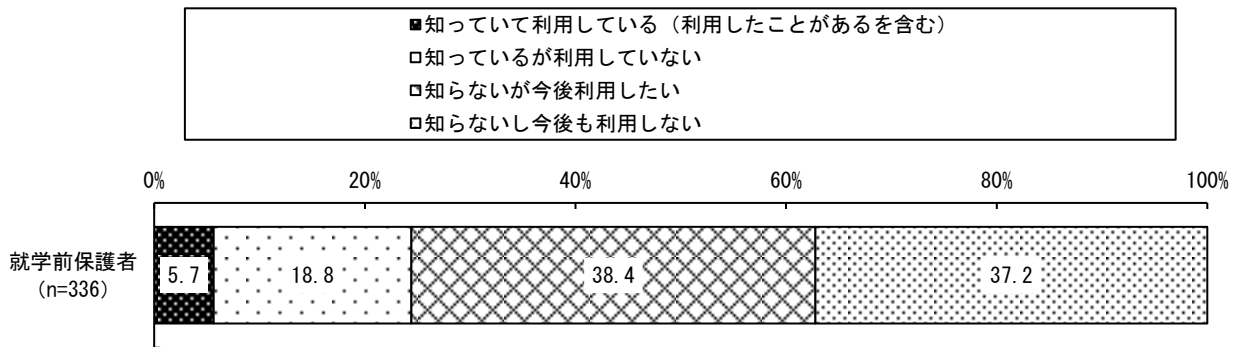


9 妊娠・子育てほっとステーションについて

問31 妊娠や出産、子育てに関する相談や各種助成手続きなどにワンストップで対応する各区役所の「妊娠・子育てほっとステーション」という窓口を知っていて利用したことはありますか。

妊娠・子育てほっとステーションの認知度・利用度は、「知っていて利用している」が5.7%、「知っているが利用していない」が18.8%、「知らないが今後利用したい」が38.4%、「知らないし今後もしない」が37.2%となっています。

図 2.31 妊娠・子育てほっとステーションの認知度・利用度

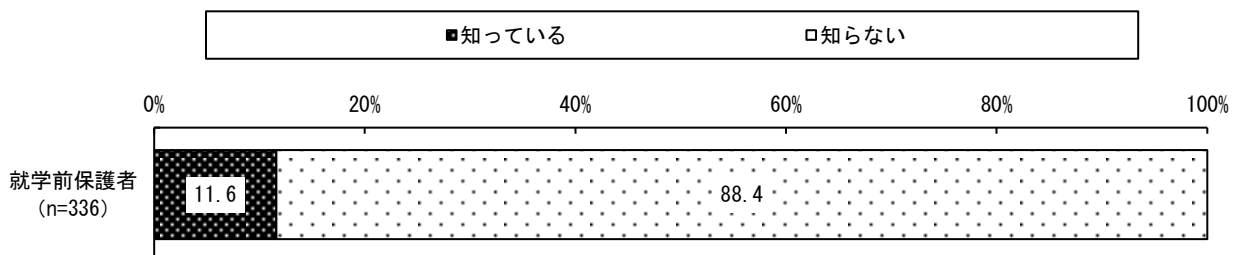


10 新潟市子ども条例について

問32 令和4年4月から「新潟市子ども条例」が施行されていることを知っていますか。
(1つに○)

「新潟市子ども条例」の施行については、「知っている」が11.6%、「知らない」が88.4%となっています。

図 2.32 新潟市子ども条例の認知度

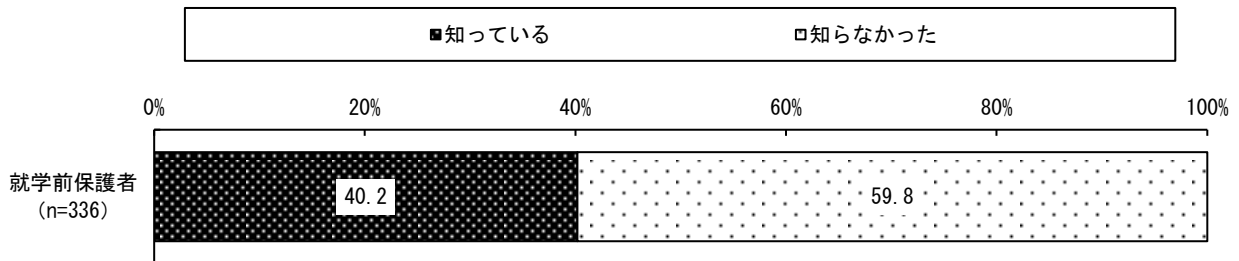


11 児童虐待について

問33 児童福祉法及び児童虐待防止法の改正により「児童のしつけに際して体罰を加えてはならない」と明記され、令和2年4月から施行されることを知っていますか。(1つに○)

児童福祉法及び児童虐待防止法の改正については、「知っている」が40.2%、「知らない」が59.8%となっています。

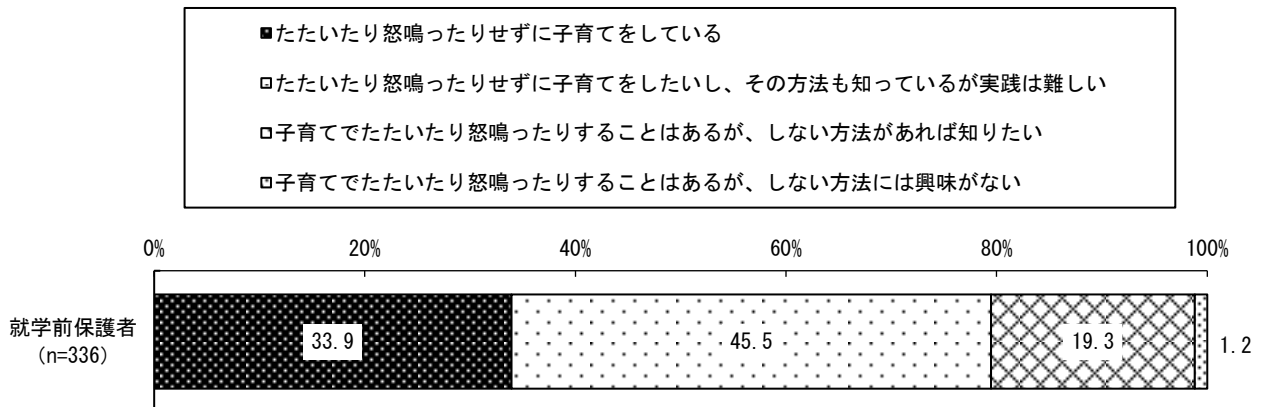
図 2.33 児童福祉法及び児童虐待防止法の改正の認知度



問33-1 しつけについて、あなたの気持ちに近いものはどれですか。(1つに○)

しつけについては、「たたいたり怒鳴ったりせずに子育てをしたいし、その方法も知っているが実践は難しい」が45.5%、「たたいたり怒鳴ったりせずに子育てをしている」が33.9%、「子育てでたたいたり怒鳴ったりすることはあるが、しない方法があれば知りたい」が19.3%、「子育てでたたいたり怒鳴ったりすることはあるが、しない方法には興味がない」が1.2%となっています。

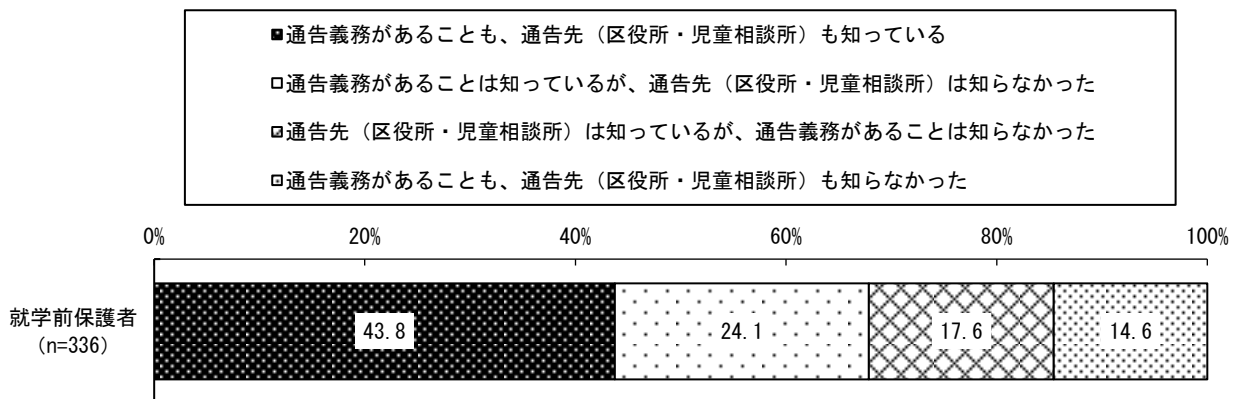
図 2.33-1 しつけについて



問34 あなたは児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者には、区役所や児童相談所への通告義務があることを知っていますか。（1つに○）

区役所や児童相談所への通告義務の認知度は、「通告義務があることも、通告先（区役所・児童相談所）も知っている」が43.8%、「通告義務があることは知っているが、通告先（区役所・児童相談所）は知らなかった」が24.1%、「通告先（区役所・児童相談所）は知っているが、通告義務があることは知らなかった」が17.6%、「通告義務があることも、通告先（区役所・児童相談所）も知らなかった」が14.6%となっています。

図 2.34 区役所や児童相談所への通告義務の認知度

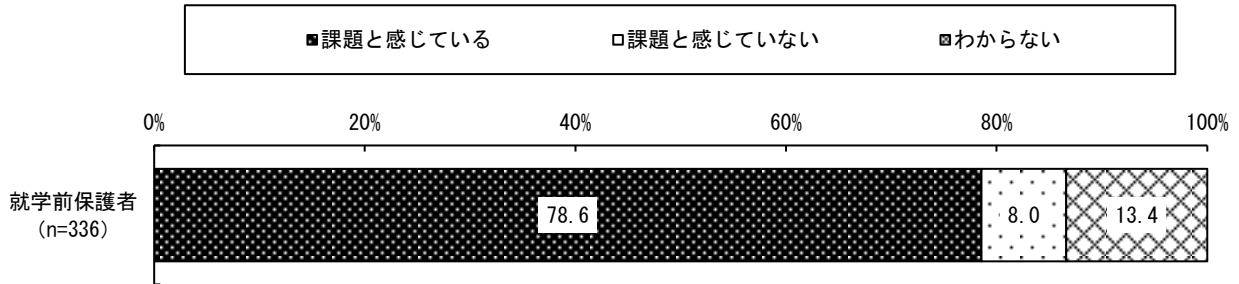


12 少子化対策について

問35 あなたは少子化についてどのように感じていますか。(1つに○)

少子化については、「課題だと感じている」が78.6%、「わからない」が13.4%、「課題と感じていない」が8.0%となっています。

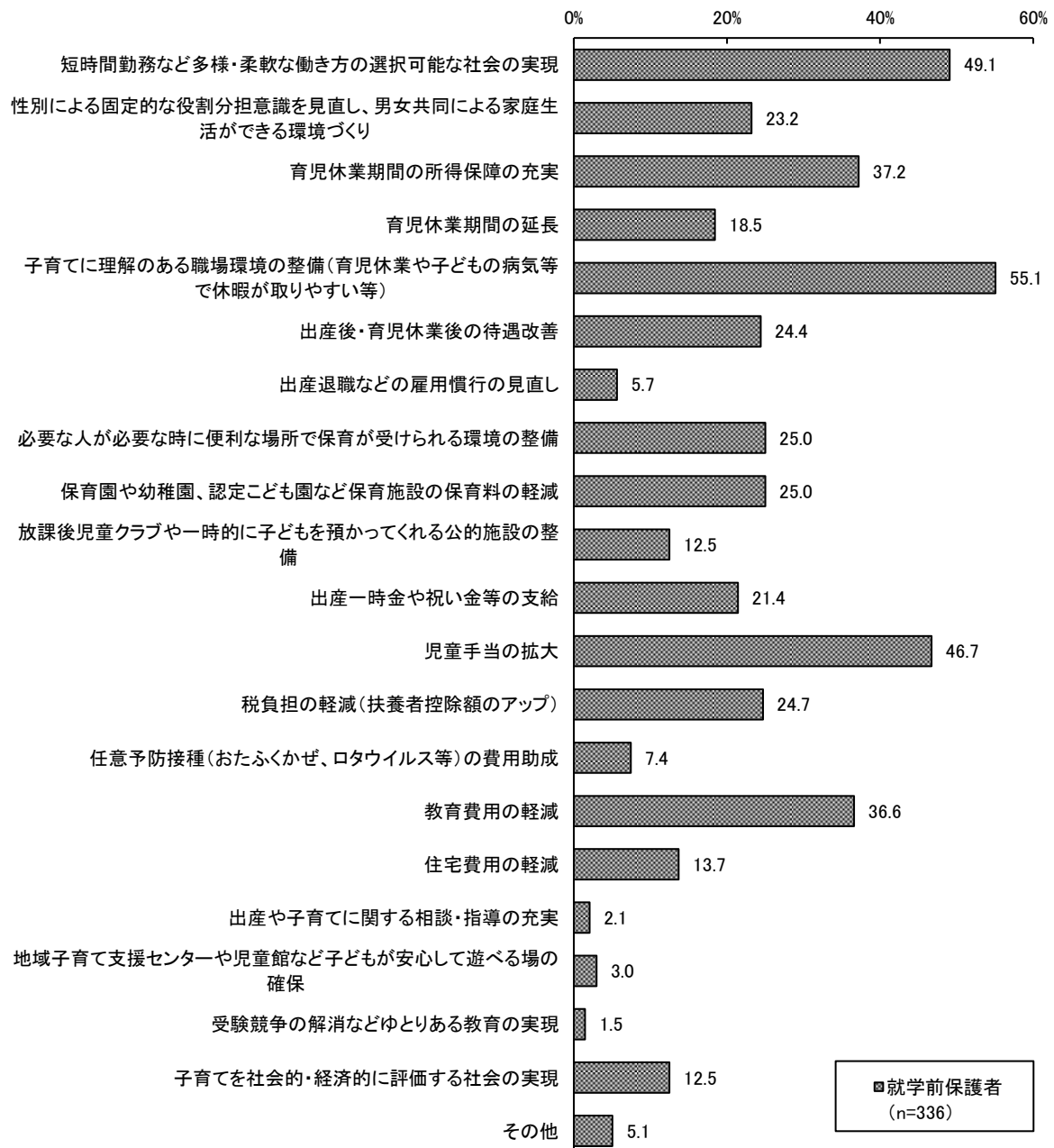
図 2.35 少子化について



問35-1 少子化対策として、どのような子育て支援策が有効だと思いますか。(5つまで○)

少子化対策の有効な手段は、「子育てに理解のある職場環境の整備（育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等）」が55.1%、「短時間勤務など多様・柔軟な働き方の選択可能な社会の実現」が49.1%、「児童手当の拡大」が46.7%、「育児休業期間の所得保障の充実」が37.2%、「教育費用の軽減」が36.6%となっています。

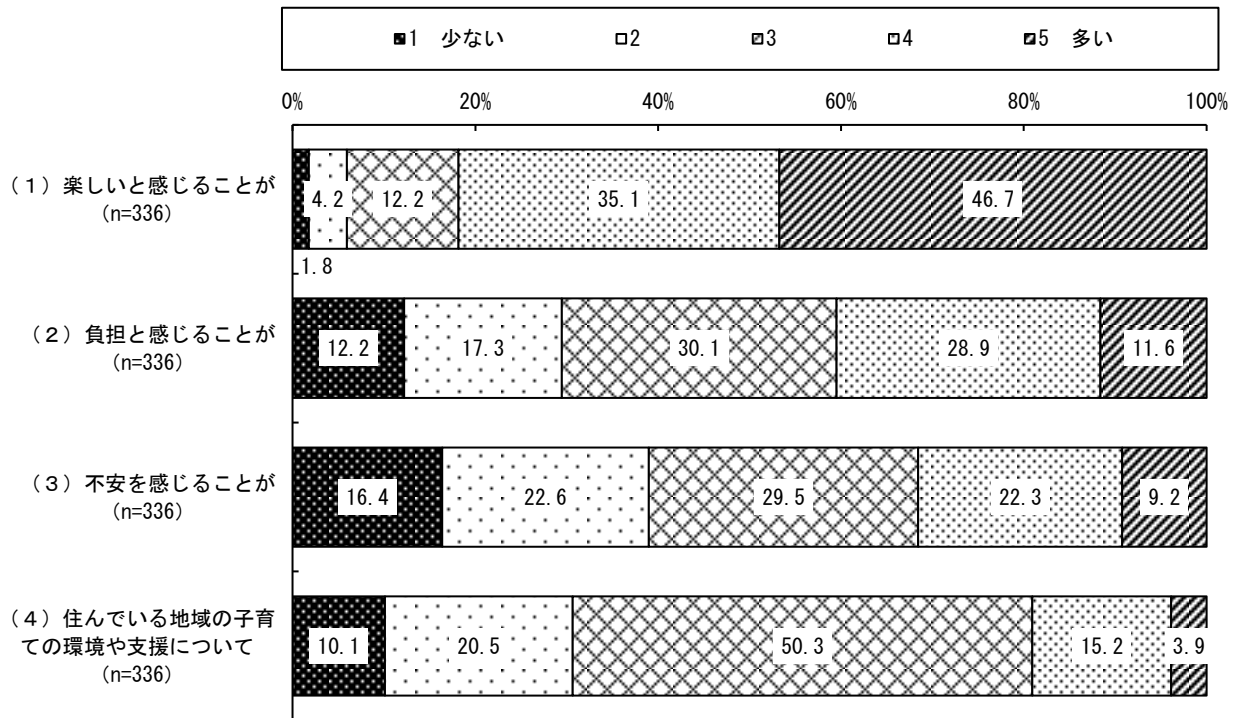
図 2.35-1 少子化対策の有効な手段



問36 あなたは子育てをどのように感じていますか。
あなたの気持ちに近いと思う番号をお答えください。

子育てについて「楽しいと感じることが」多いは46.7%、「負担と感じることが」多いは11.6%、「不安を感じることを」多いは9.2%、「住んでいる地域の子育ての環境や支援について」多いは3.9%となっています。

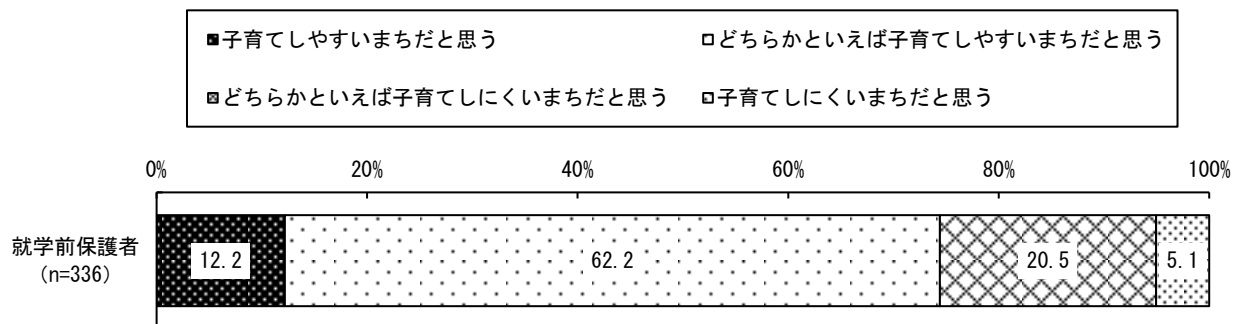
図 2.36 子育てについて



問37 あなたにとって、新潟市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

新潟市の子育てやすさについては、「どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う」が62.2%、「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」が20.5%となっています。

図 2.37 新潟市の子育てやすさについて

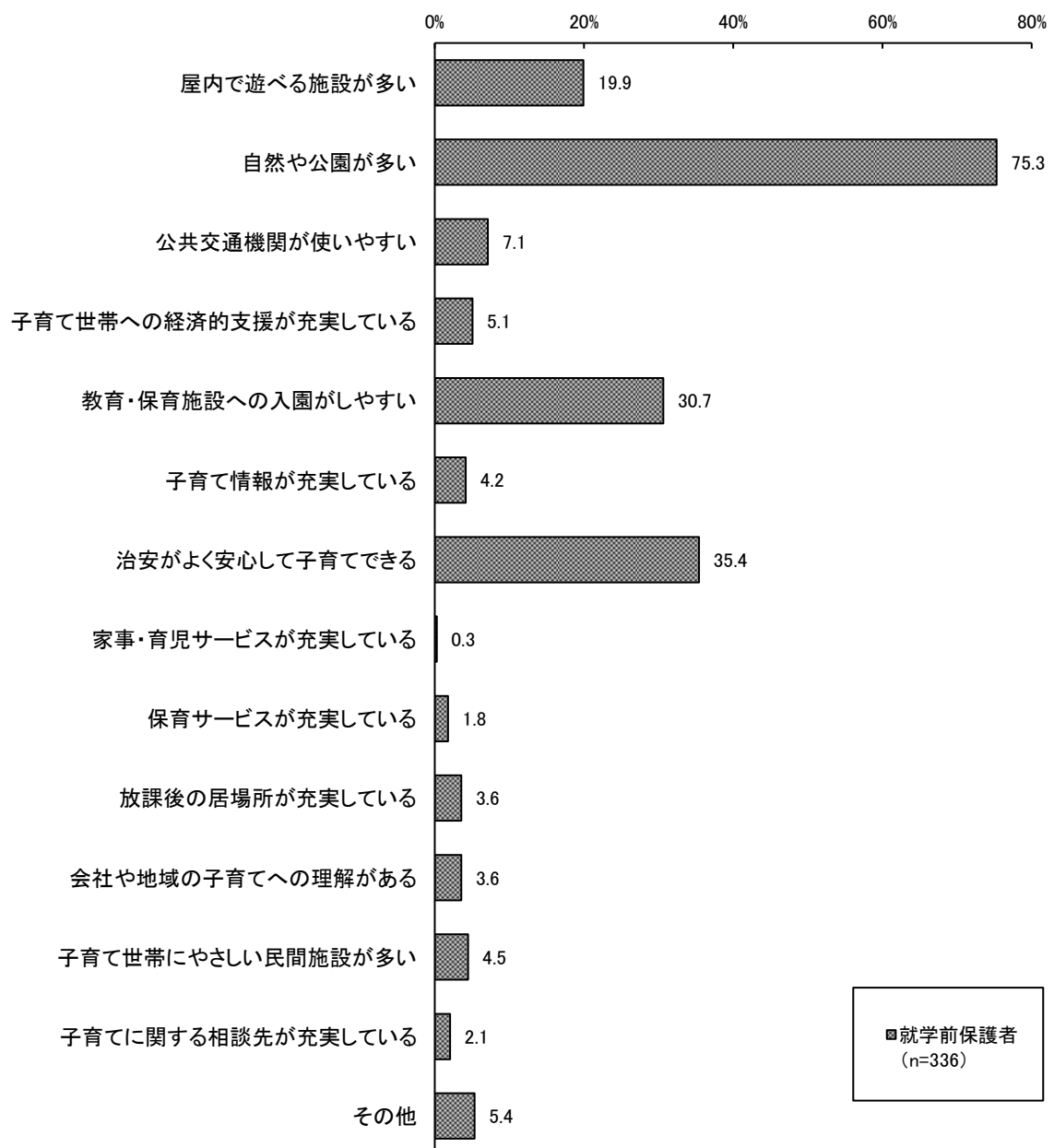


問38 新潟市のどのようなところが子育てしやすい、またはしにくいと感じますか。(それぞれ3つまで○)

①子育てしやすいところ

新潟市の子育てしやすいところは、「自然や公園が多い」が75.3%、「治安がよく安心して子育てできる」が35.4%、「教育・保育施設への入園がしやすい」が30.7%、「屋内で遊べる施設が多い」が19.9%となっています。

図 2.38① 子育てしやすいところ



問38 新潟市のどのようなところが子育てしやすい、またはしにくいと感ずますか。(それぞれ3つまで○)
 ②子育てしにくいところ

新潟市の子育てしにくいところは、「子育て世帯への経済的支援が少ない」が48.2%、「屋内で遊べる施設が少ない」が43.8%、「公共交通機関が使いづらい」が27.7%、「教育・保育施設への入園が難しい(途中入園含む)」が19.3%となっています。

図 2.38② 子育てしにくいところ

